

鳥栖市文化財調査報告書第 87 集

# 儀 徳 遺 跡

2 0 1 6

鳥栖市教育委員会



鳥栖市文化財調査報告書第87集

ぎ とく  
儀 徳 遺 跡

宅地造成に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

2016

鳥栖市教育委員会





## 序

本書は、鳥栖市儀徳町に所在する儀徳遺跡で平成26年度に実施した埋蔵文化財緊急発掘調査の記録をまとめた報告書です。

発掘調査の記録としては十分満足のゆくものではありませんが、本書の内容を通して郷土の文化財に対して一層のご理解をいただき、また、今後の学術文化の向上に幾分とも寄与するものになれば幸いに存じます。

発刊にあたり、埋蔵文化財の保護に深いご理解をいただいたブリヂストンサイタル株式会社や地元の方々、そして発掘作業や整理作業に従事された方々に厚く御礼を申し上げます。

平成28年3月30日

鳥栖市教育委員会

教育長 天野昌明

## 例 言

1. 本書は、平成 26 年度に宅地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査を実施した、鳥栖市儀徳町字村内 3100 - 1 外 7 筆に所在する儀徳遺跡の調査報告書である。
2. 発掘調査は、開発者のプリヂストーンサイクル株式会社の委託を受けて鳥栖市教育委員会が実施した。
3. ・遺構実測は（株）埋蔵文化財サポートシステムに委託したほか、大庭敏男・杉岡俊昭、梶原慎司・ベレッチア＝カルロス＝フランシスコ（九州大学文学部学生）がおこなった。
  - ・遺構・遺物写真撮影は鹿田昌宏・大庭がおこない、空中写真撮影は（有）空中写真企画に委託した。
4. 出土遺物の整理を含む報告書作成作業は鳥栖市牛原文化財整理室で実施した。
  - ・遺物・図面整理は川原まゆみ・榎崎孝子・毛利よし子・松崎友子がおこなった。
  - ・遺物実測は毛利・松崎がおこなった。
  - ・図面トレースは毛利・松崎がおこなった。また一部は電子トレースを（株）埋蔵文化財サポートシステムに委託したほか、大庭・島孝寿がおこなった。
5. 発掘調査に際し、九州大学比較社会文化研究院 溝口孝司教授から指導・助言をいただいた。
6. 本書の執筆・編集は鹿田が担当し、大庭・島が協力した。

## 凡 例

1. 本書で報告する調査地区名については、平成 4 年度に宅地造成に伴って緊急発掘調査を実施した調査地区 2 地点を 1 区、2 区とし、今回の調査地点を 3 区とした。
2. 遺構図に用いた方位は国土座標第 II 系に準拠した座標北である。
3. 土層の土色および土器の色調は全て目測による観察で、色名は「新版標準土色帖」に準拠している。
4. 遺構遺物の写真及び実測図は、鳥栖市牛原町文化財整理室に保管する。

## 本文目次

第1章 調査の経過	1
1. 調査の経緯と組織	1
2. 遺跡の位置と環境	2
第2章 調査の概要	3

## 挿図目次

図1 儀徳遺跡調査地点位置図 (1/5,000)	2
図2 儀徳遺跡遺構配置図1 (1/300)	5
図3 儀徳遺跡遺構配置図2 (1/100)	6
図4 儀徳遺跡遺構配置図3 (1/100)	7
図5 儀徳遺跡遺構配置図4 (1/100)	8
図6 甕棺墓1 SJ08・SJ10 (1/30)	9
図7 甕棺墓2 SJ14・SJ15 (1/30)	10
図8 甕棺墓3 SJ40・SJ44・SJ60 (1/30)	11
図9 甕棺墓4 SJ04・SJ12・SJ13・SJ16・SJ18・SJ22・SJ31 (1/30)	12
図10 甕棺墓5 SJ27・SJ32・SJ33・SJ37・SJ41・SJ62 (1/30)	13
図11 甕棺墓6 SJ64・SJ69・SJ83・SJ86・SJ90・SJ92・SJ98 (1/30)	14
図12 甕棺墓7 SJ99・SJ100 (1/30)	
土壙墓1 SP05・SP06・SP09・SP11・SP40 (1/40)	15
図13 土壙墓2 SP21・SP23・SP25・SP26・SP30・SP35 (1/40)	16
図14 土壙墓3 SP36・SP43・SP45・SP47・SP50・SP51 (1/40)	17
図15 土壙墓4 SP53・SP54・SP55・SP58 (1/40)	18
図16 土壙墓5 SP56・SP57・SP59・SP66・SP70 (1/40)	19
図17 土壙墓6 SP71・SP76・SP77・SP78・SP81・SP88・SP107・SP108 (1/40)	20
図18 土壙墓7 SP79・SP82・SP84・SP85 (1/40)	21
図19 土壙墓8 SP89・SP91・SP95・SP102・SP111・SP112・SP113 (1/40)	22
図20 土壙墓9 SP96・SP101 (1/40)	23
図21 土坑1 SK01・SK02・SK03・SK07・SK20・SK24・SK28・SK29・SK38 ・SK39・SK42・SK48・SK52・SK87・SK63・SK103・SK104・SK105 (1/60)	24
図22 土坑2 SK93・SK94 (1/60) 石棺墓1 SC68・SC75 (1/40)	25

図23	石棺墓 2	SC34・SC46 (1/40)	26
図24	石棺墓 3	SC49・SC61・SC65 (1/40)	27
図25	石棺墓 4	SC67・SC72 (1/40)	28
図26	石棺墓 5	SC73・SC80 (1/40)	29
図27	出土遺物 1	(1/12)	35
図28	出土遺物 2	(1/12・1/6)	36
図29	出土遺物 3	(1/6)	37
図30	出土遺物 4	(1/4)	38
図31	出土遺物 5	(1/2)	39

## 表 目 次

表 1	甕棺墓一覧表	30
表 2	土壙墓一覧表	31
表 3	土坑一覧表	33
表 4	石棺墓一覧表	34
表 5	出土遺物一覧表	40
表 6	出土遺物 (その他)	42

## 写真図版目次

図版 1	1. 3区全景 (南西上空から) 2. 3区全景 (北西上空から)
図版 2	1. 3区墳墓群 (左が北)
図版 3	1. SJ04 (北から) 2. SJ08 (南から) 3. SJ10 (南から) 4. SJ12 (北から) 5. SJ13 (西から) 6. SJ14 (北から) 7. SJ15 (南から) 8. SJ18 (北から)
図版 4	1. SJ18 (南から) 2. SJ22 (北から) 3. SJ27 (南から) 4. SJ31 (北から) 5. SJ32 (南から) 6. SJ33 (南から) 7. (上から) SJ37、SJ98 (北から) 8. SJ40 (南から)
図版 5	1. SJ41 (北から) 2. SJ44 (北から) 3. SJ60 (北から) 4. SJ62 (南から) 5. SJ64 (南から) 6. SJ69 (南から) 7. SJ83 (南から) 8. SJ86 (南から)
図版 6	1. SJ90 (北から) 2. SJ92 (北から) 3. SJ99 (西から) 4. SJ100 (東から) 5. SP06 (東から) 6. SP09 (北から)

7. SP21 (北から) 8. (左から) SP17、SP45、SP 5 9 (東から)
- 図版 7 1. SP43 (北から) 2. SP50 (南から) 3. SP51 (南から)  
4. (左から) SP52、SP53、SP54 (西から) 5. SP56 (南から)  
6. SP66 (南から) 7. SP71 (南から) 8. SP71 遺物出土状況
- 図版 8 1. SP70 (東から) 2. SP74 (東から) 3. SP76 (北から)  
4. SP77 (北から) 5. SP78 (北から) 6. SP79 (南から)  
7. SP84 (北から) 8. SP85 (北から)
- 図版 9 1. SP88、89 (東から) 2. SP91 (西から) 3. SP95 (北から)  
4. SP96 (南西から) 5. SP101 (北から) 6. SP102 (南から)  
7. SP107 (南から) 8. SP109 (北から)
- 図版 10 1. SK03 (西から) 2. (左から) SK28、SK29 (北西から)  
3. SK38 (北から) 4. S93 (南から) 5. SK94 (西から)  
6. SC34 (北から) 7. SC46 (南から) 8. SC49 (南から)
- 図版 11 1. SC61 (北から) 2. SC65 (南から) 3. SC67 (北から)  
4. SC68 (南から) 5. (左から) SC72、SC73 (東から)  
6. (左から) SC72、SC73 (南から) 7. SC75 (南から)  
8. SC80 (南から)
- 図版 12 1. SJ08 上甕 2. SJ10 上甕 3. SJ10 下甕  
4. SJ86 上甕 5. SJ86 下甕 6. SJ31 下甕  
7. SJ32 下甕 8. SJ37 下甕 9. SJ98 下甕
- 図版 13 1. SJ98 上甕 2. SK28 出土土器 3. SK38 出土土器  
4. SP71 出土土器 5. SP71、SC46 出土遺物・包含層出土遺物

# 報 告 書 抄 録

ふりがな	ぎとくいせき							
書名	儀徳遺跡							
副書名	宅地造成に伴う発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名	鳥栖市文化財調査報告書							
シリーズ番号	第87集							
編著者名	鹿田昌宏							
編集機関	鳥栖市教育委員会							
所在地	〒841-8511 佐賀県鳥栖市宿町1118 TEL 0942(85)3695							
発行年月日	西暦2016年3月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯 ° ' "	東経 ° ' "	調査期間	調査面積	調査原因
ぎとくいせき 儀徳遺跡	さがけん 佐賀県 とすし 鳥栖市	410213	—	33° 55' 45"	130° 49' 06"	20141027 ～ 20150320	約2,000㎡	宅地造成
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
儀徳遺跡	墳墓	弥生	甕棺墓 29 土壙墓 51 石棺墓 11 土 壙 20	弥生土器		弥生時代中期の土壙墓から銅矛切先1点と磨製石剣1点、2基の石棺墓から鉄鏃などの鉄製品が出土		
	集落跡	古代	土坑 掘立柱建物	瓦器				

# 第1章 調査の経過

## 1. 調査の経緯と組織

平成26年7月14日付でブリヂストンサイクル株式会社より、同社所有の社宅跡地（儀徳町字村内3100-10外7筆6,988㎡）を宅地に再開発する造成工事に伴う埋蔵文化財発掘調査依頼が提出された。開発予定地は周知の埋蔵文化財「儀徳遺跡」の範囲内であるが、当該地はすでに平成25年11月6日～12日に確認調査を実施しており、遺構・遺物の存在を確認していた。

このため、事業者と協議を行った結果、開発対象地のうち遺構を確認した約2,000㎡について、事前に埋蔵文化財緊急発掘調査を実施して記録保存を行い、開発と文化財保護との調整を測ることで合意した。平成26年度に現場発掘作業、27年度に整理報告書作成を行うことで、協定及び委託契約を締結した。

調査は、現地の発掘調査を平成26年10月27日より平成27年3月20日にかけて行い、出土遺物・調査記録類の整理ならびに調査報告書作成業務は、平成27年度事業として平成27年4月27日より平成28年3月31日にかけて、鳥栖市牛原町文化財整理室において実施した。

調査の組織は以下のとおりである。

委託者	ブリヂストンサイクル株式会社
調査主体（受託者）	鳥栖市教育委員会
総括	教育長 天野 昌明
	教育部長 園木 一博（～平成27年6月）
	教育部次長 白水 隆弘（～平成27年6月）
	江寄 充伸（平成27年7月～）
	生涯学習課長 佐藤 敦美
	生涯学習課参事 近藤 信孝（～平成27年6月）
	成富 俊夫（平成27年7月～12月）
調査	生涯学習課文化財係
	文化財係長 久山 高史
	文化財係主査 向田 雅彦
	鹿田 昌宏（確認調査・本調査・報告書作成担当）
	湯浅 満暢
	内野 武史
	島 孝寿
	大庭 敏男（本調査・報告書作成担当）
	調査補助員 梶原 慎司・ベレッチア=カルロス=フランシスコ（九州大学文学部4年生）
	発掘作業員 緒方幸弘・皆良田憲男・皆良田涼子・川口ひろみ・朽木光利・杉岡俊昭
	高田敏秋・直塚 功・山口正樹・横田みさお・松崎友子・川原まゆみ
	榎崎孝子
	整理作業員 松崎友子・毛利よし子・川原まゆみ・榎崎孝子



## 2. 遺跡の位置と環境

儀徳遺跡は、鳥栖市の西南部に位置し、安良川の中～下流域右岸、沼川の中～下流域左岸、朝日山から南へ延びる低位段丘の西先端付近の標高約 11 ～ 11 m の低位段丘上に立地する。

調査地の周辺一帯は、戦後高度成長期以降の宅地化が顕著となっており、宅地造成などによる削平・盛土が盛んに行われた結果、もとの地形が大きく改変されている。このため、現況では原地形を想定することが困難であるが、戦前の地形図や戦後米軍が撮影した空中写真から詳細に分析することで、調査地一帯は開折谷と丘陵が複雑に入り組んでいた地形であったことがわかる。

調査地点はこの丘陵の南端部に位置する。一帯は北側に位置する幸津遺跡や安良遺跡、西側に位置する村田三本松遺跡が分布しており、これらでは過去の調査で弥生時代の墳墓跡を確認している。

幸津遺跡は過去に 2 地点（1、2 区）で本調査を実施している。1 区では石蓋土壙墓 4 基及び石蓋が欠失した可能性が高い土壙墓 3 基、甕棺墓 2 基が検出された。2 区では祭祀土器の廃棄土坑 1 を検出したほか、古代の掘立柱建物も検出されている。

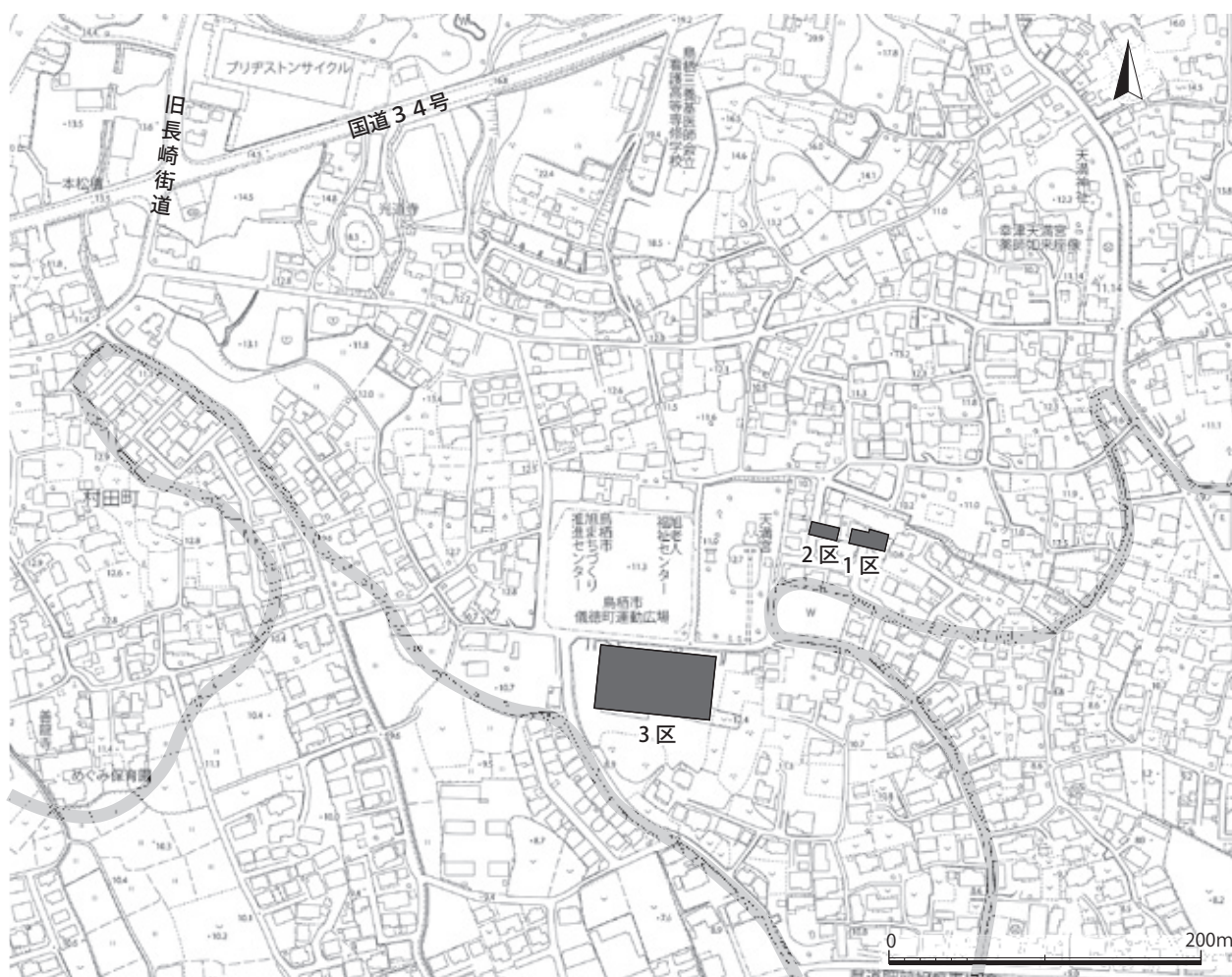


図1 儀徳遺跡調査地点位置図(1/5,000)



## 第2章 調査の概要

調査の結果、弥生時代の墓地と古代および中世前期の集落跡を検出した。とくに弥生時代の遺構は甕棺墓29基、土壙墓51基、石棺墓11基、土坑20基を検出したが、これは確認調査の段階で得られた所見からは全く想定できなかったものである。過去の調査地点も含め、堅穴住居などの生活の痕跡を示す遺構が全く検出されていないところから、弥生時代中期から後期にかけての時期、この一帯は墓域であったものと考えられる。甕棺墓の墓壙の残存状況から推定して当時の歩行面は現況より1m程度高かったと推定される。

同時期の墓地は過去の儀徳遺跡の調査地点でも検出している。1区では土壙墓3基、石蓋土壙墓4基、甕棺墓2基、2区では祭祀土器の廃棄土坑1基を検出している。1区の土壙墓は石蓋を欠失した可能性が高い。なお、今回調査を実施した3区と1、2区とは直線距離で150mほどしか離れていないが、ため池としてかろうじて原地形の名残を残している入り組んだ丘陵の谷奥部から、1、2区と3区とはこの小谷を挟んだ墓域としては別のグループとなり、それぞれの墓域は開折谷に挟まれた丘陵を横断するように配置されていることがわかる。

墓域は東西方向に並ぶ。丘陵を横断する長さ70m、幅15mほどのごく限定された地点に墓域が重複している。南西方向に延びる細長い丘陵に直交するように列埋葬が営まれていることから、墓域の両端は旧地形(図1参照)から想定して限定されているとみられる。

甕棺墓は成人棺が12基、小児棺が17基検出されている。時期は概ね中期前半である。成人棺の時期はS J 8 6甕棺が汲田式古段階(橋口編年K II b式)、S J 0 8・1 0・1 6・1 0 0甕棺が汲田式新段階(橋口編年K II c式)、S J 1 4・1 5・4 0・4 4・6 0甕棺が須玖式(橋口編年K III a式)である。S J 2 7・9 9甕棺は胴部片を検出したのみで時期は不明だが、棺の埋置角度から汲田式とみられる。

土壙墓は2次墓壙の規模から想定して成人墓が36基、小人墓が16基検出されている。2段階掘りの構造であるところから甕棺墓とほぼ同時期のものとみられるが、この場合、甕棺墓の成人墓と小人墓の比率が約2:3であるのに対して、土壙墓は約2:1と成人墓の比率が高い傾向にある。土壙墓の小人墓は何らかの理由で甕棺(土器)を使用せずに直葬に近い形で埋葬したと考えることもできる。上部が削られ2次墓壙のみが残存するものや不整形のものが大半であるが、石蓋のものが3基(S P 5 5・8 1・8 2)、2次墓壙長軸に立石があるものが2基(S P 4 7・7 9)ある。S P 7 8土壙墓(図17、写真図版8)は2次墓壙底面から板材による組合せ式木棺の痕跡が検出された。

大半の土壙墓は1次墓壙と2次墓壙の中軸をほぼ同一にするが、調査区東端で検出されたS P 9 6土壙墓(図20、写真図版9)のみは、1次墓壙の南側に2次墓壙を設定しており比較的規模も大きい。また、1次墓壙を取り囲むように小穴が連なっており、確定はできないが何らかの建造物の存在を想定する余地を残す。この土壙墓は位置的にも隔絶しており、他の墓との重複も見られないことから、より古相でかつ集団の中でも指導者的な地位にあった被葬者が想定できる。

S P 7 1土壙墓から細形銅矛の切先部分(図31-1、写真図版13-5)と、切先部分を欠失した磨製石剣(図31-2、写真図版13-5)がそれぞれ1点出土している。いずれも出土位置を明確にすることはできないが、前者は被葬者の体内に含入されていたものとおもわれる。武器の先端部が墓から出土する例は相当数が報告されているが、鳥栖地域でも26例が出土している。また、市内で出土する青銅製武器の切先は銅矛が多い。これまでに安永田遺跡(7区)、柚比本村遺跡(4区)、村田三本松遺跡(8区)と本例の4例が出土している。手で突く銅剣よりも柄を両手で突き出す銅矛がより刺突力が強いのであろう。

石棺墓は構造や副葬品の有無等による差異はないものの、調査区の東部にS C 6 7石棺墓(図25、写真図版11)及びS C 7 2石棺墓(図25、写真図版11)・S C 7 3石棺墓(図26、写真図版11)の3基は、石蓋や板石の石材を含め規模が大きく、石蓋内側に朱を塗布するなど明らかに他の石棺墓との差別化が見られる。なお、S C 7 2・7 3石棺墓ほぼ同時期(墓壙の新旧関係ではS C 7 3石棺墓が後)に並列して営まれている。

これらの被葬者はSP96土壙墓と同様に、この墓域を営んだ集団の中で指導者的な地位にあったものとみられる。この遺跡も含め鳥栖地域の弥生時代から古墳時代前期にかけての組合せ式石棺に使用される板状の石材は、全て緑泥片岩を使用しているが、これは遺跡の北方にある朝日山から所熊山に分布する縞状角閃岩（三郡変成岩）で、この周辺から容易に採集できるものである。

SC46石棺墓から鉄鏃（図31-3、写真図版13-5）が1点出土している。有茎式鉄鏃で、茎部は身の部分より若干厚みがある。圭頭の頭部はタガネ切りによる整形の後、刃部を鍛打で鋭利に仕上げている。こうした鏃が1点のみ副葬される例は珍しくないが、本来の矢の先端部品としては別に、ヤリガンナのような工具としての用途も考慮する必要があるのではないだろうか。

土坑については、甕棺墓の近くで検出され、おそらくは小人を埋葬したであろう定型的ではない土壙墓の可能性のあるものと、中世前期の遺物が出土したSK38土坑を除き、周辺に生活関連遺構が無いこと、広口壺が多く甕が少い出土土器の傾向から、大半が中期前半の墓地に伴ういわゆる祭祀土坑とみられる。平面形態は長方形あるいは楕円形である。

古代の集落跡については、調査後に図面上で小穴の配列を確認したもので、調査時に遺構として現地で検出を確認・精査することができなかったが、調査区のほぼ中央北よりに一辺8m程度2×2間の掘立柱建物跡とみられる遺構が1棟確認できる。時期などは明確でないが、掘立柱建物跡は15mほど北東の2区でも一辺8m程度の2×2間の総柱建物跡が検出されており、今回検出した建物跡も同時期同規模の総柱建物跡である可能性が高い。他にも柵列の可能性の高い柱穴の配列があるようである。なお、竪穴住居などの生活関連遺構は検出されていない。今回の調査で周辺一帯に古代の掘立柱建物が散在していることがわかった。高台に位置する現在の天満宮の位置を中心に配置されていた可能性も考えられるが、性格の詳細については、周辺における今後の調査の成果を合わせて判断していく必要がある。

また、中世前期の瓦器と土師器の碗と石鍋片が出土したSK38土坑（図21、写真図版10）を検出したが、これ以外にこの時期の集落遺跡の存在を想定できるような遺構や遺物は検出されていない。

なお、石棺墓の埋土中から縄文時代のものともみられる黒曜石製の石鏃（図31-4、写真図版13-5）が1点出土している。周辺に縄文時代の包含層が存在するものとおもわれる。

最後に、今回調査した弥生時代の墓地について簡単に総括する。

- ①中期初頭頃に土壙墓が最初に営まれる → 続いて中期中頃にかけて甕棺墓が営まれたのち、墓地の造営が一旦中断する → 後期初頭以降になって再び同じ墓域内で重複して石棺墓が営まれる。
- ②墓域の造営期間は甕棺墓と土壙墓を中心とする中期前半と石棺墓を中心とする後期前半の大きく2時期に分かれるが、この墓域は一時的な隔絶があるものの、全体的に見るとほぼ同じ方位で列状に埋葬されている。このことから、隔絶の間も当地区に墓地の様相が残るか、祭祀の継続等は無かったとしても、少なくとも墓地としての認識は維持されていたものと考えられる。
- ③この墓域は基本的には一般的な集団墓であるが、明らかに墓域中の墓を凌ぐ構造や規模を持つSP96土壙墓やSC72・SC73石棺墓が含まれている。
- ④以上から、集団の中で一定の指導者的な地位にはあるが、未だ特定集団墓や墳丘をもつ特定墓などを造営するまでには至らない被葬者層が想定され、弥生時代の社会構造の発展を考える上で興味深い一例を提示することとなった。

#### 参考文献

- 鳥栖市教育委員会 2014 「儀徳遺跡1区・2区の調査」『鳥栖市文化財年報2012年度版』  
佐賀県教育委員会 2003 「八ツ並金丸遺跡(墳墓)」『柚比遺跡群3』  
橋口達也 1999 『弥生文化論 稲作の開始と首長権の展開』 雄山閣

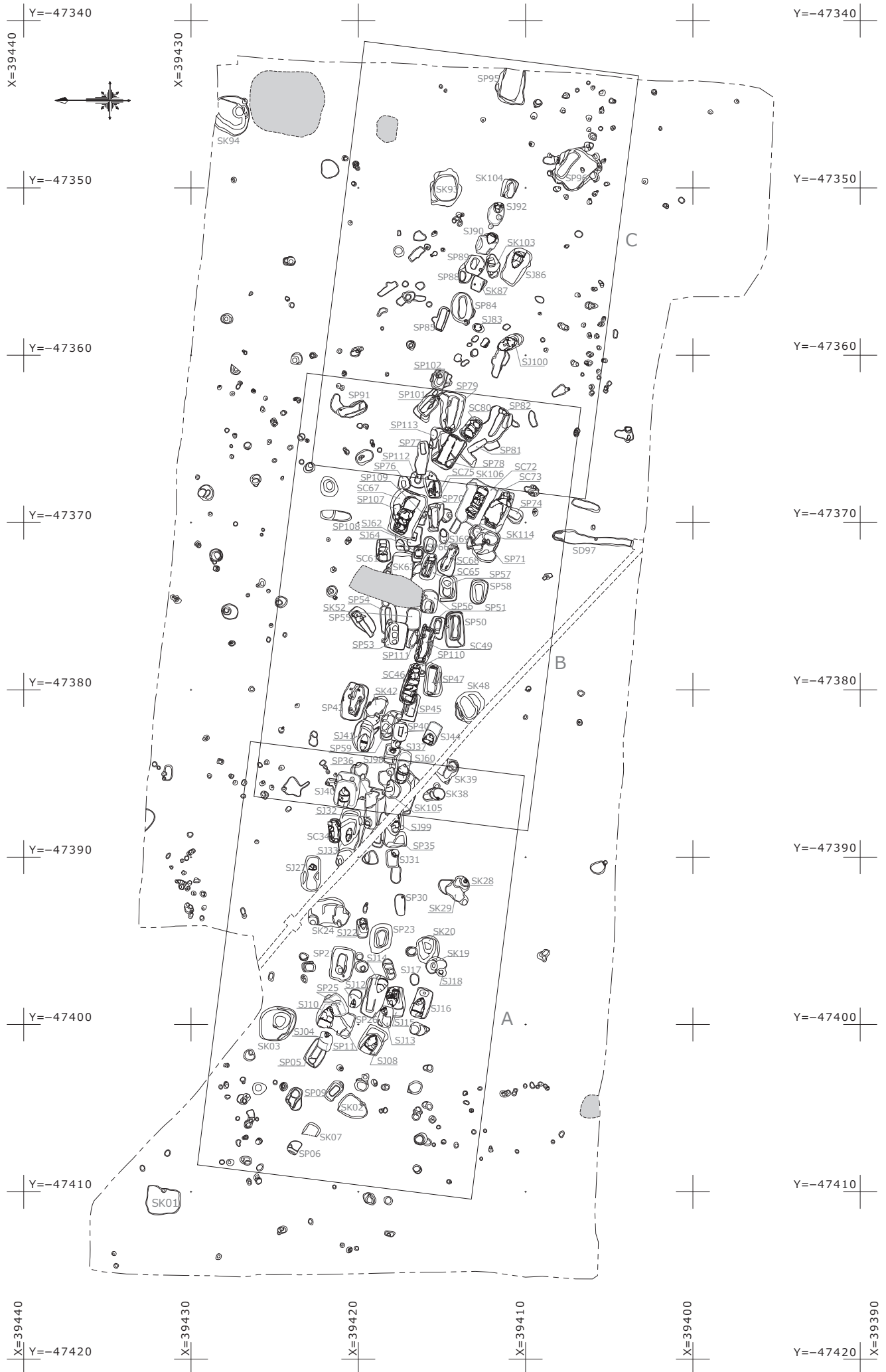


图2 儀徳遺跡遺構配置図(1/300)



图3 儀德遺跡遺構配置圖 部分A (1/100)





图4 儀德遺跡遺構配置圖 部分B (1/100)



图5 儀德遺跡遺構配置図 部分C (1/200)

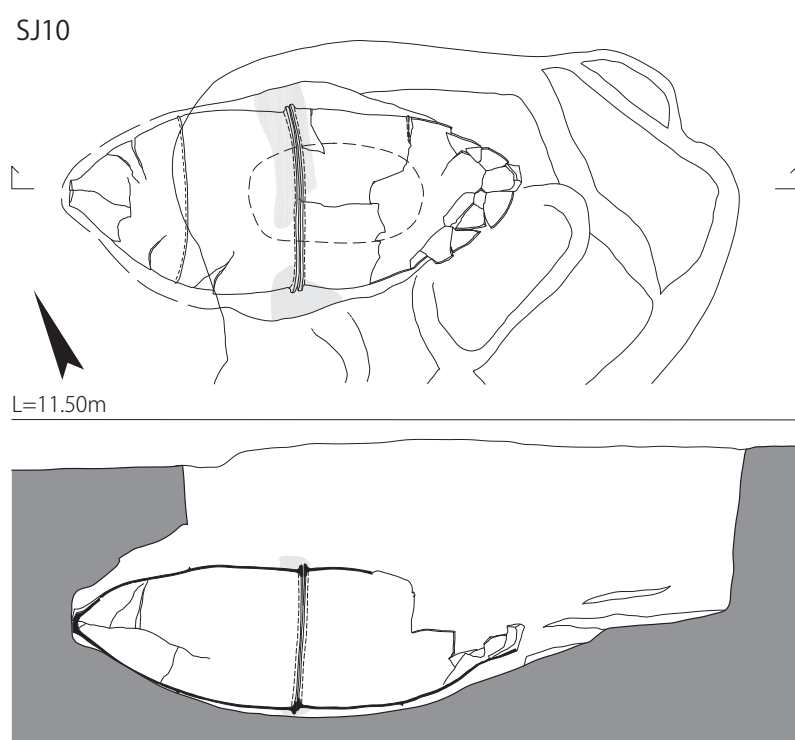
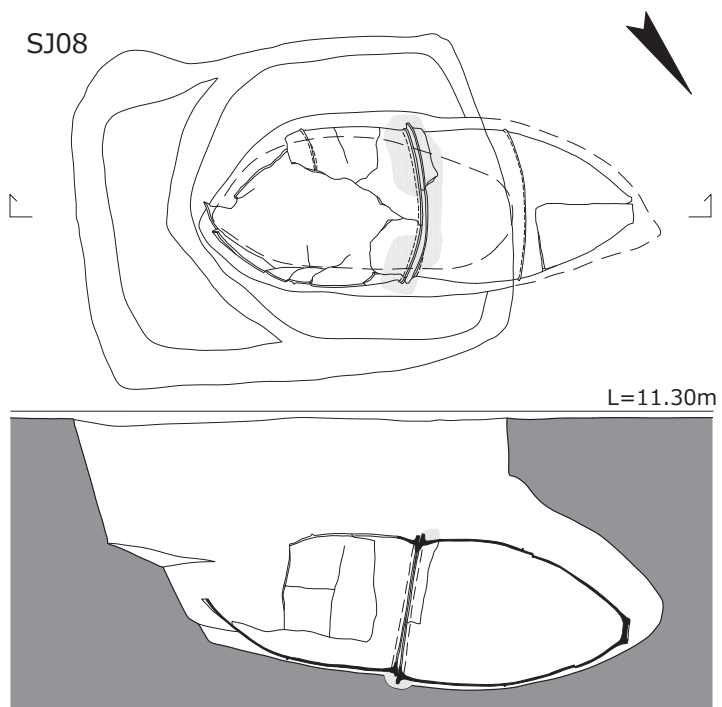


图6 甕棺墓1 SJ08·SJ10 (1/30)

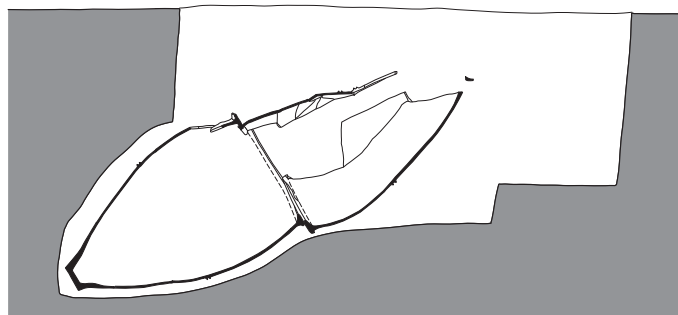
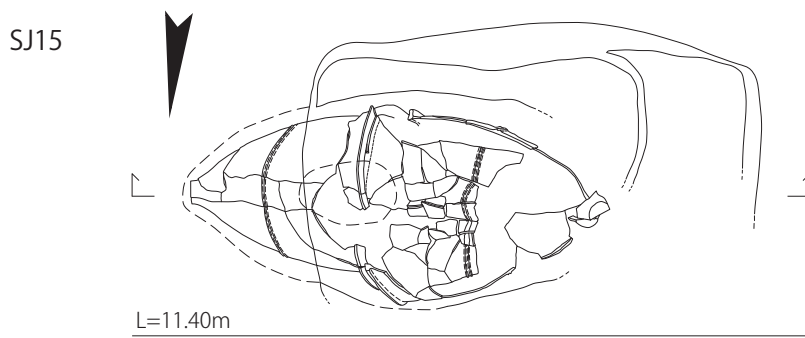
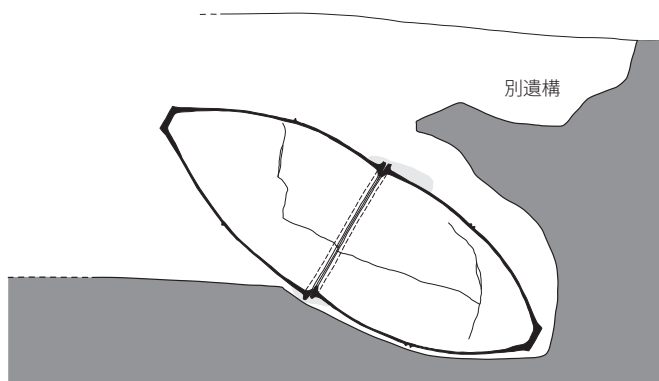
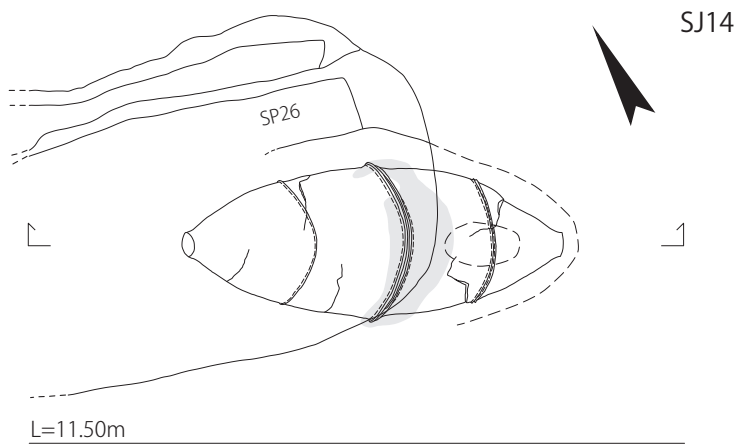


图7 甕棺墓2 SJ14・SJ15 (1/30)



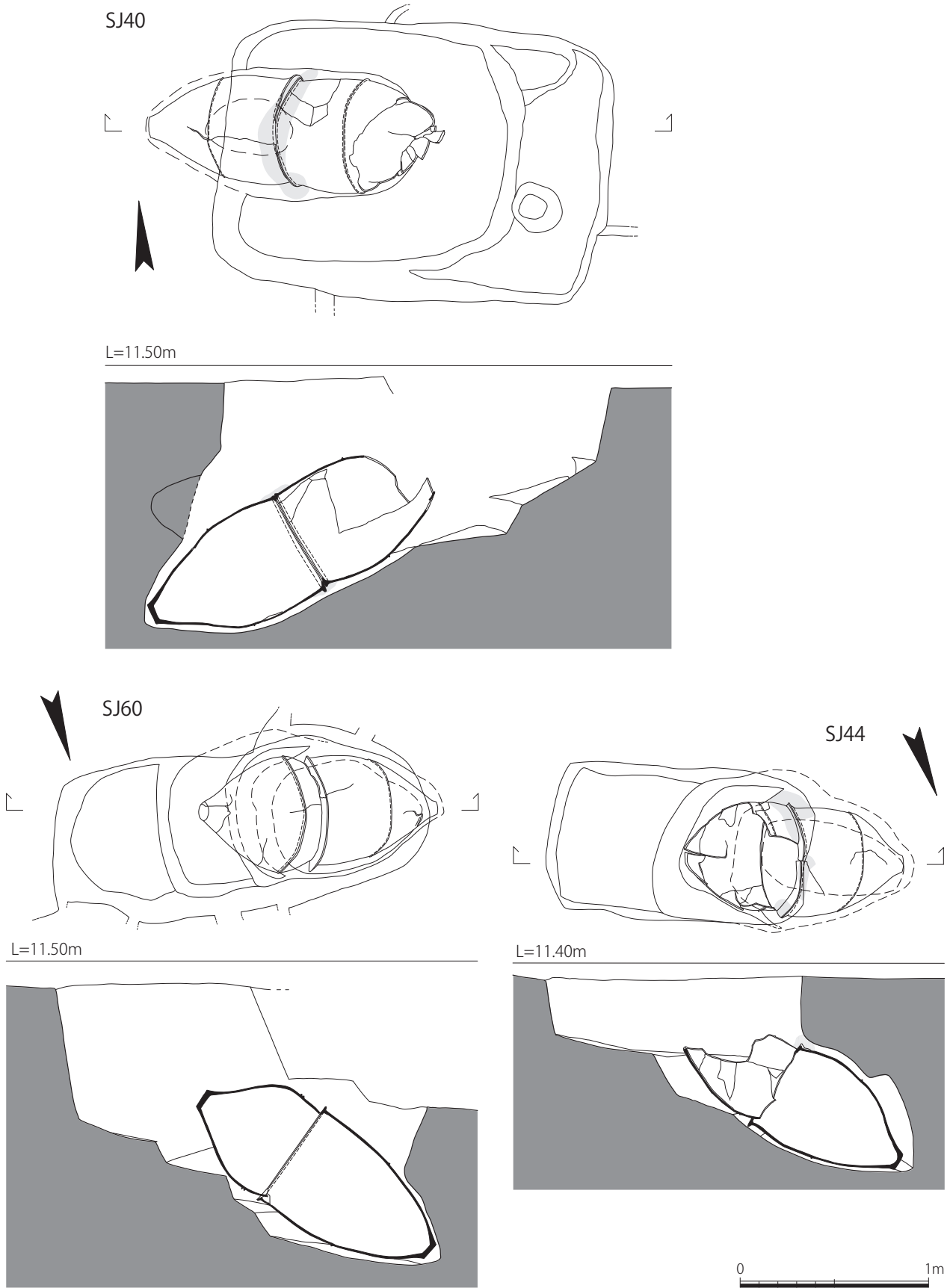


图8 甕棺墓3 SJ40·SJ44·SJ60 (1/30)

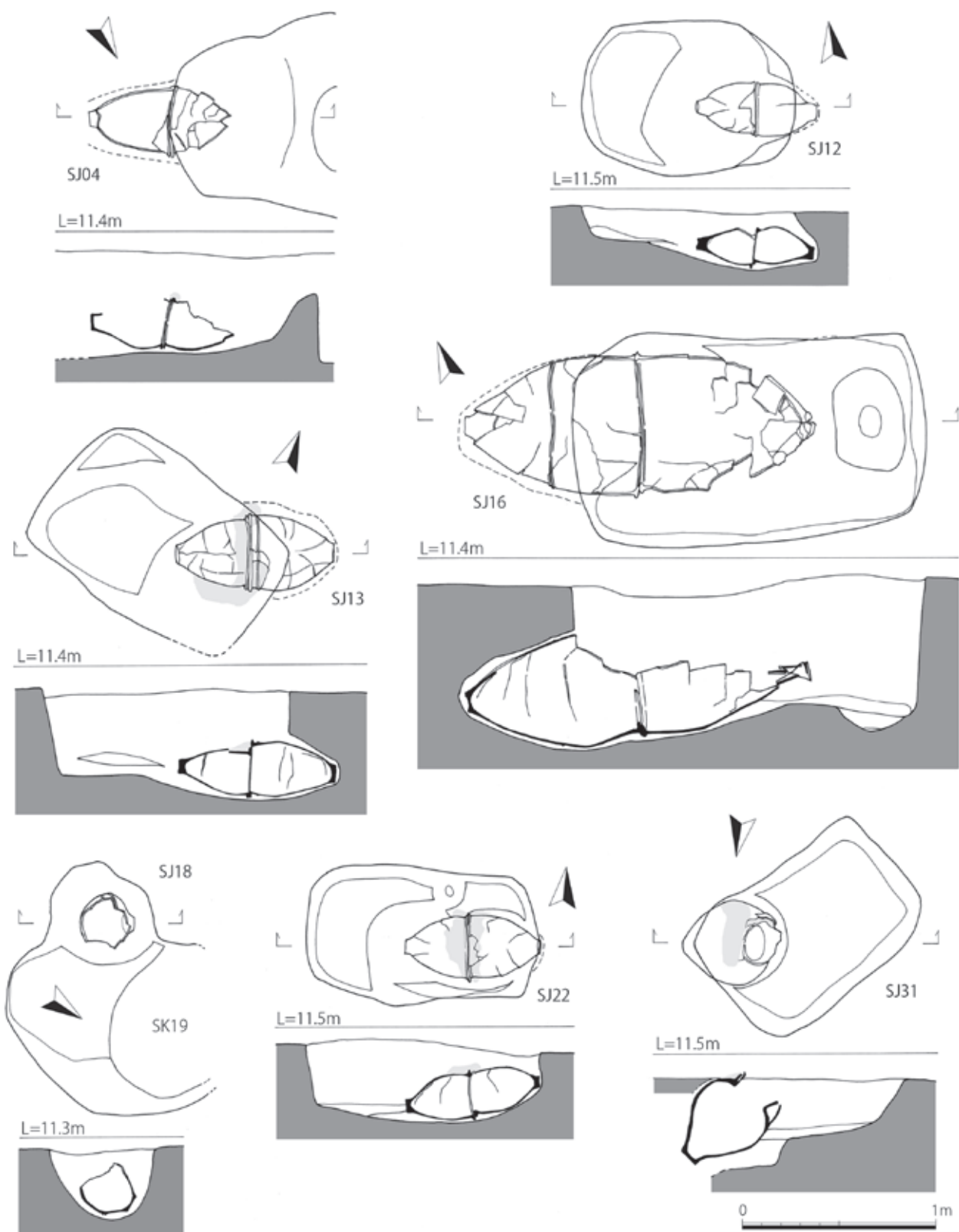


图9 甕棺墓4 SJ04・SJ12・SJ13・SJ16・SJ18・SJ22・SJ31 (1/30)

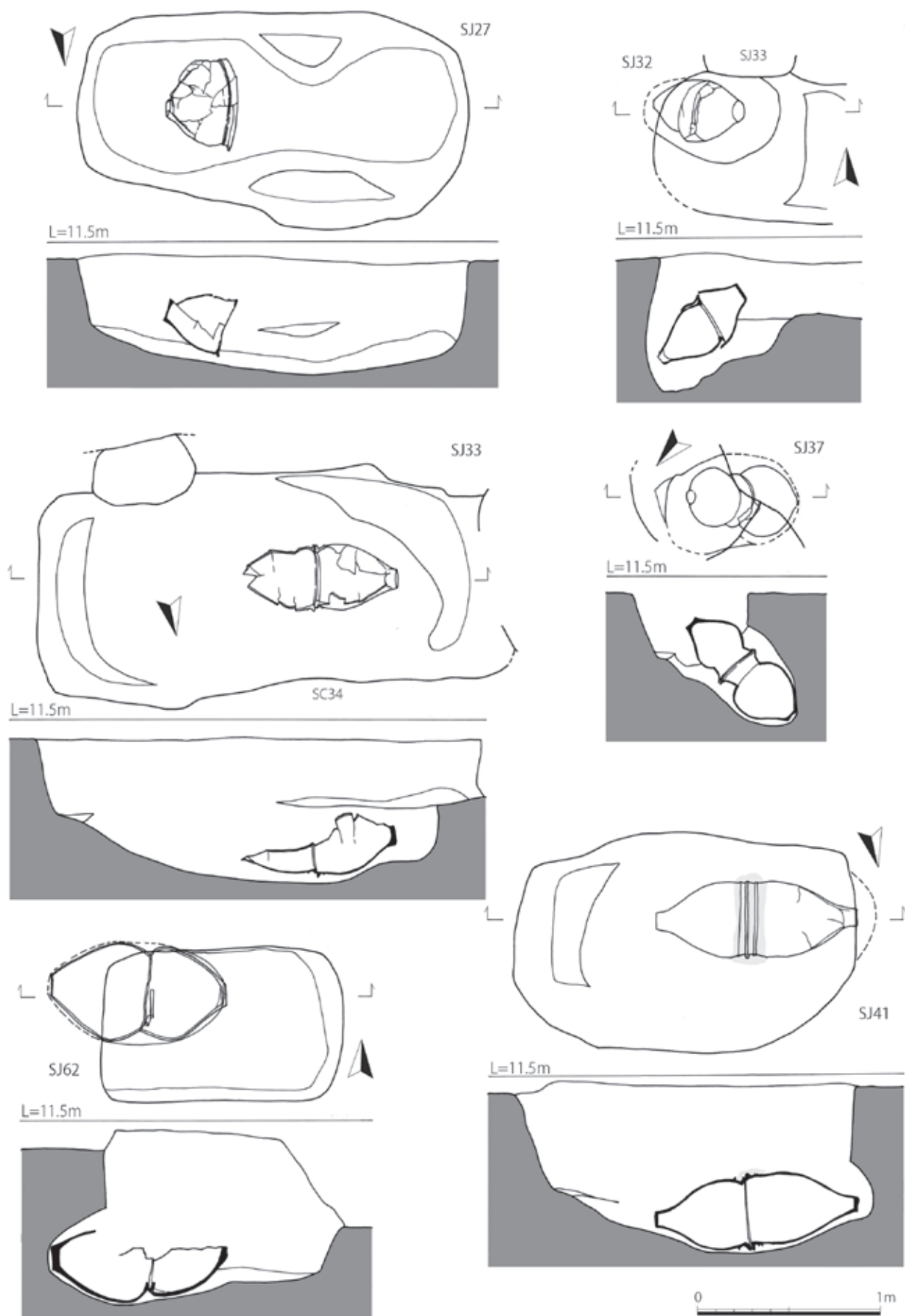


图 10 甕棺墓 5 SJ27 · SJ32 · SJ33 · SJ37 · SJ41 · SJ62 (1/30)

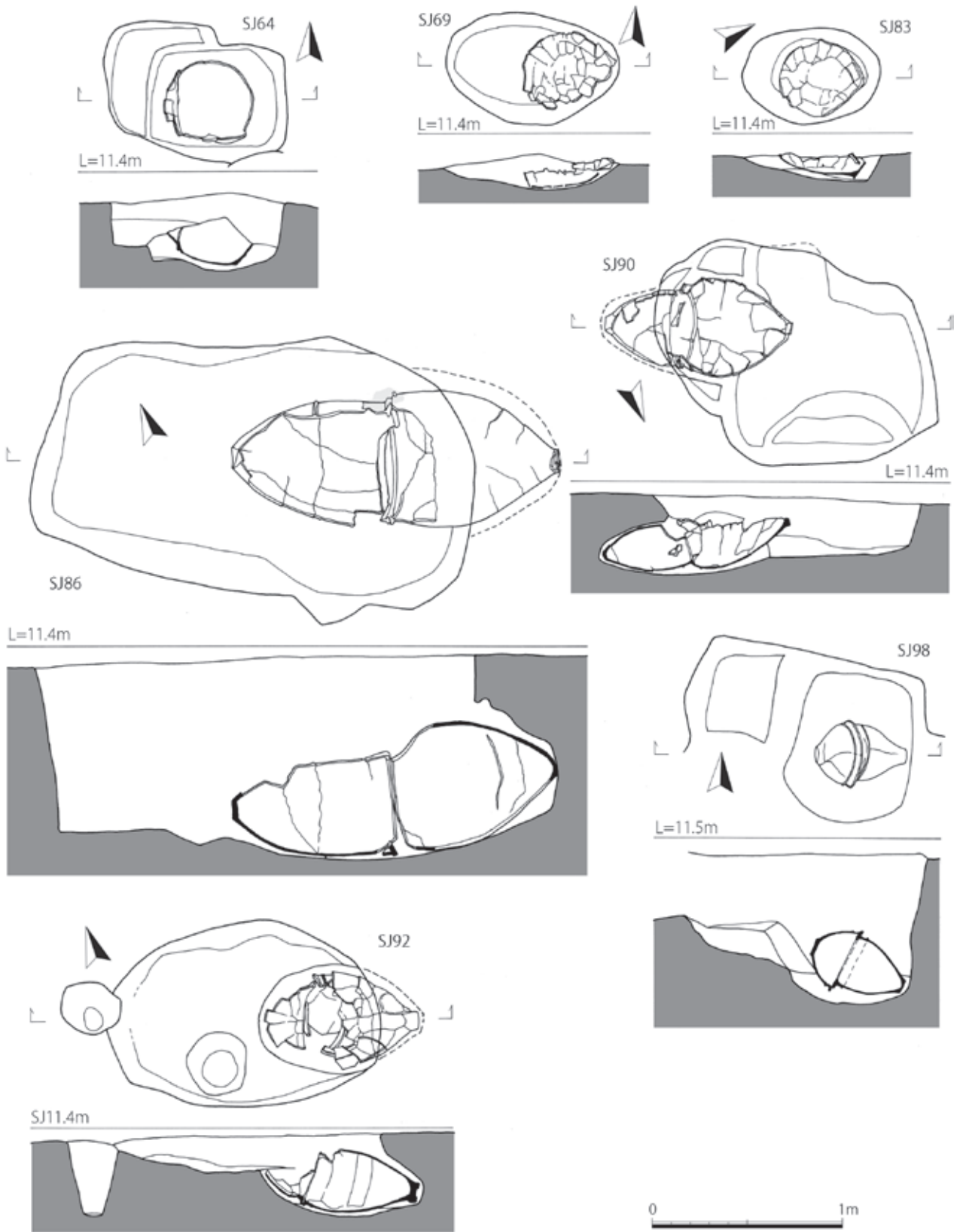


图 11 甕棺墓 6 SJ64 · SJ69 · SJ83 · SJ86 · SJ90 · SJ92 · SJ98 (1/30)

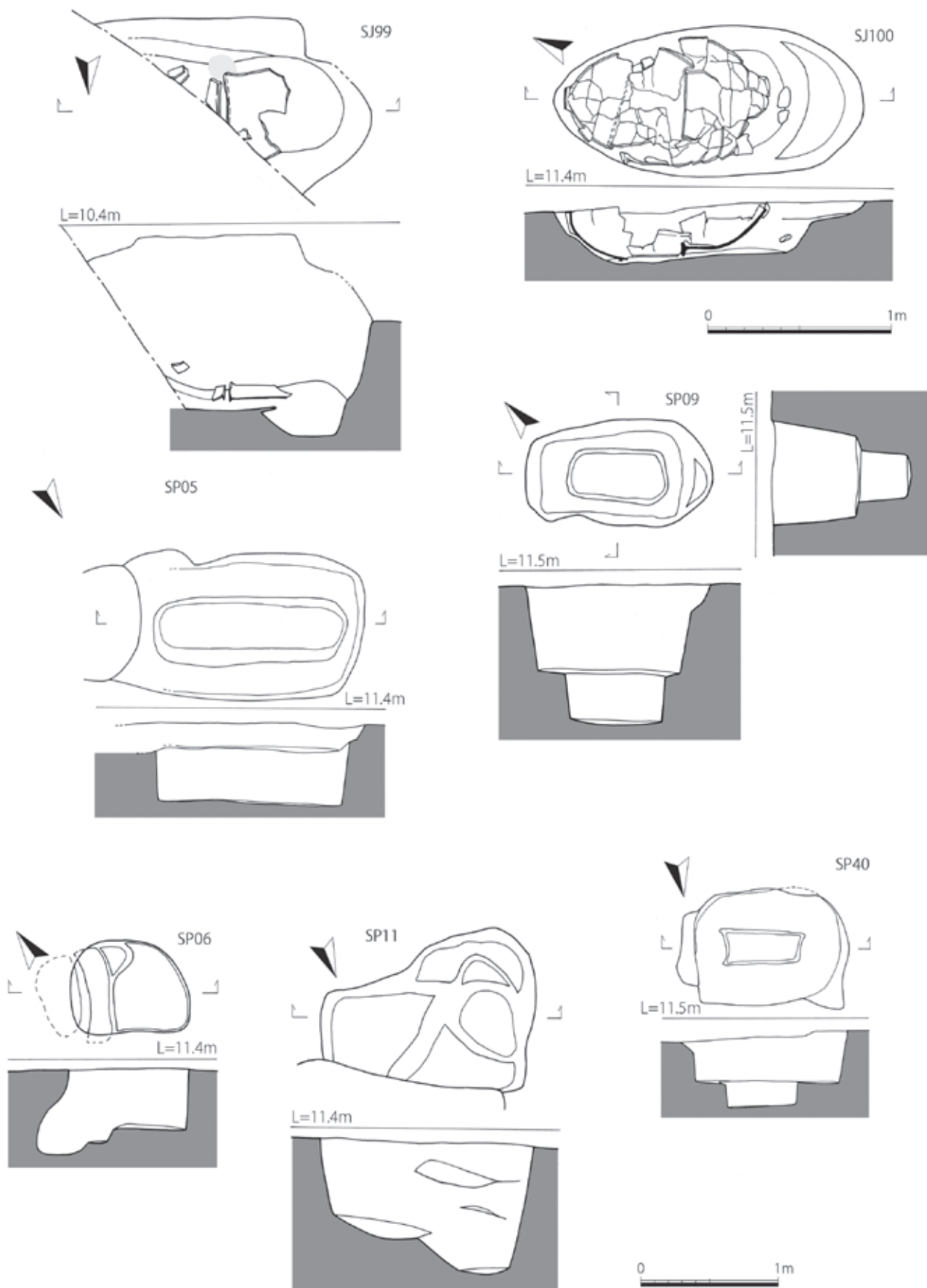


图 12 甕棺墓 7 SJ99 · SJ100 (1/30) 土坑墓 1 SP05 · SP06 · SP09 · SP11 · SP40 (1/40)

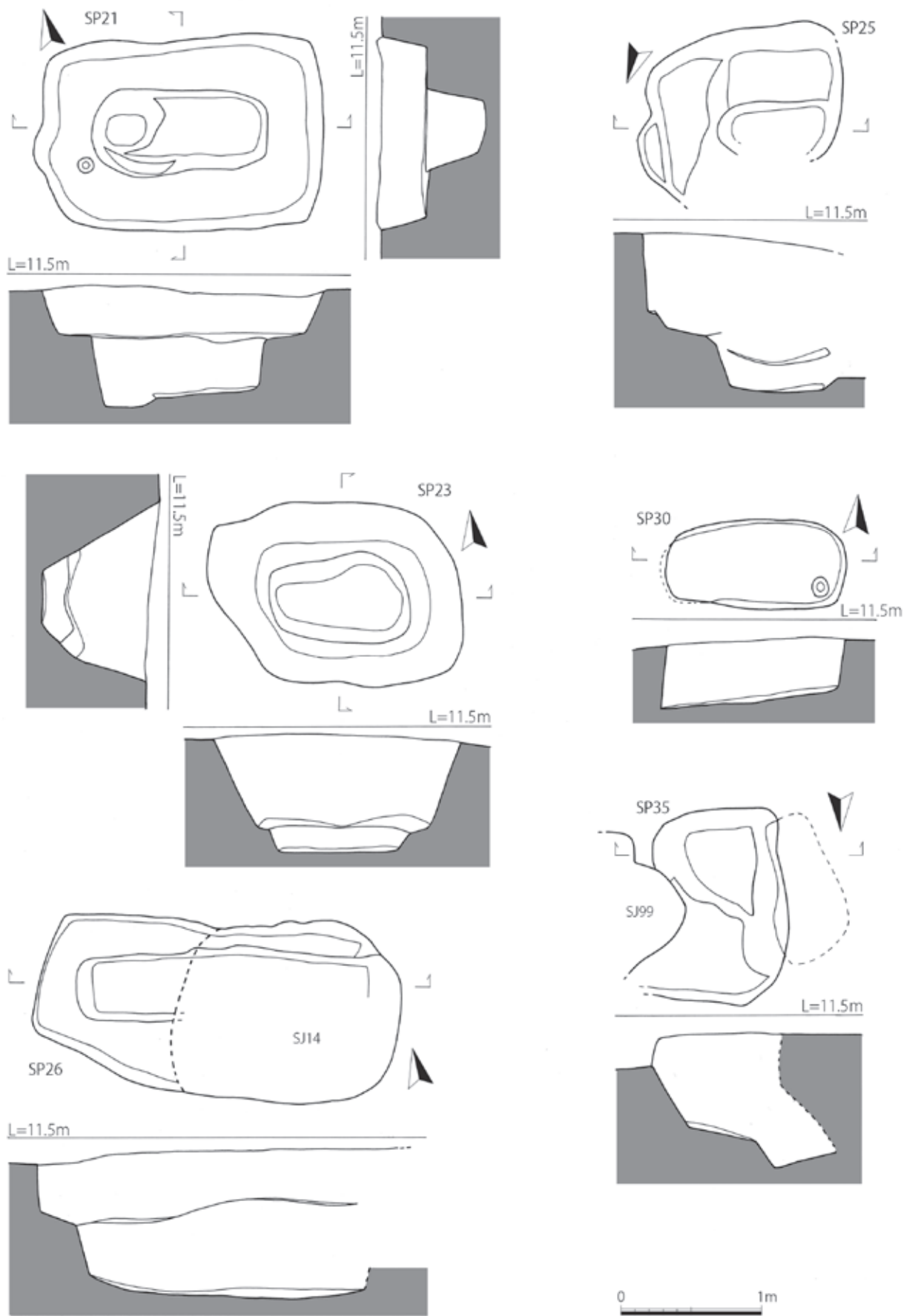


图 13 土壙墓 2 SP21 · SP23 · SP25 · SP26 · SP30 · SP35 (1/40)

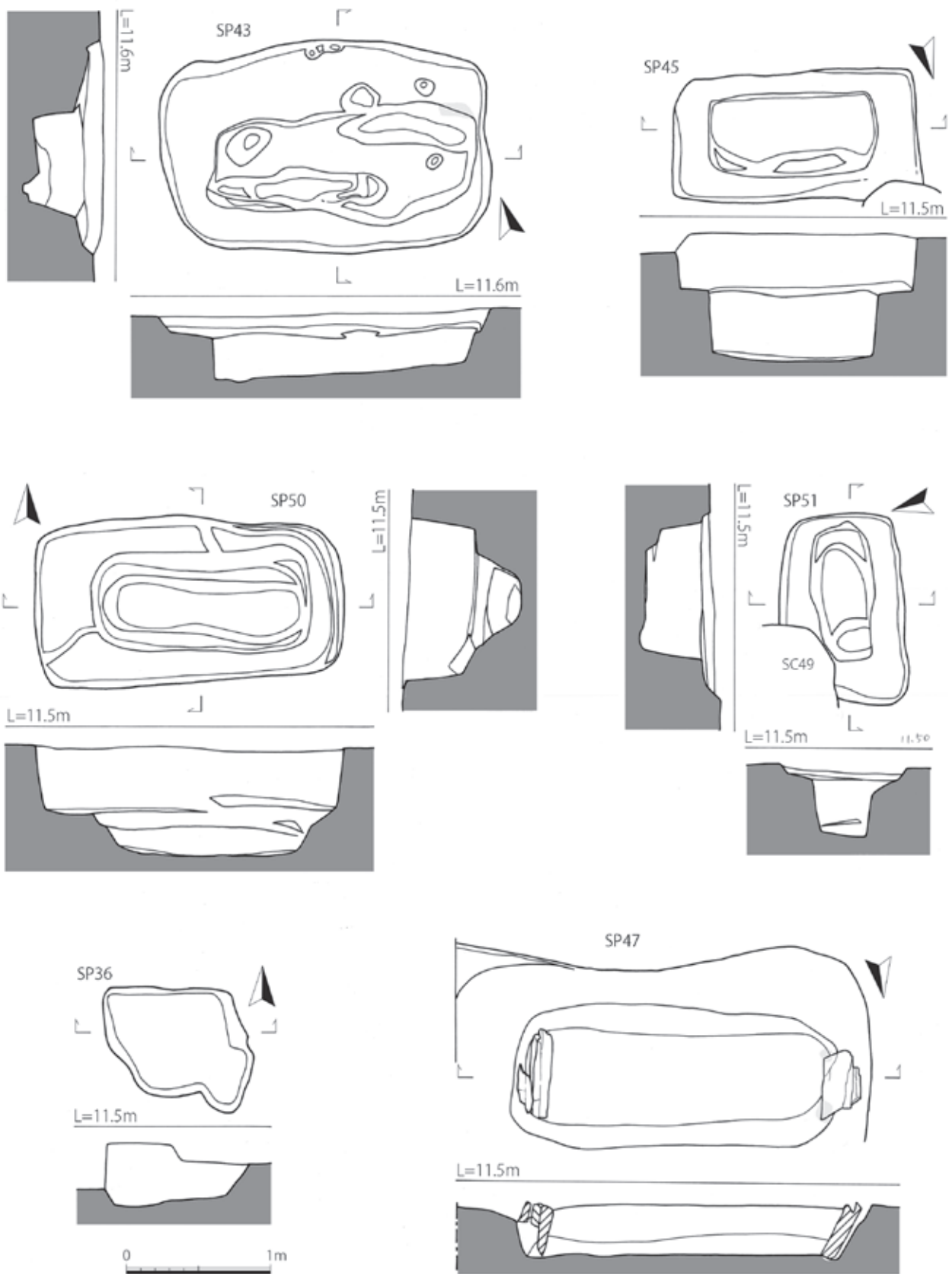


图 14 土墳墓 3 SP36 · SP43 · SP45 · SP47 · SP50 · SP51 (1/40)

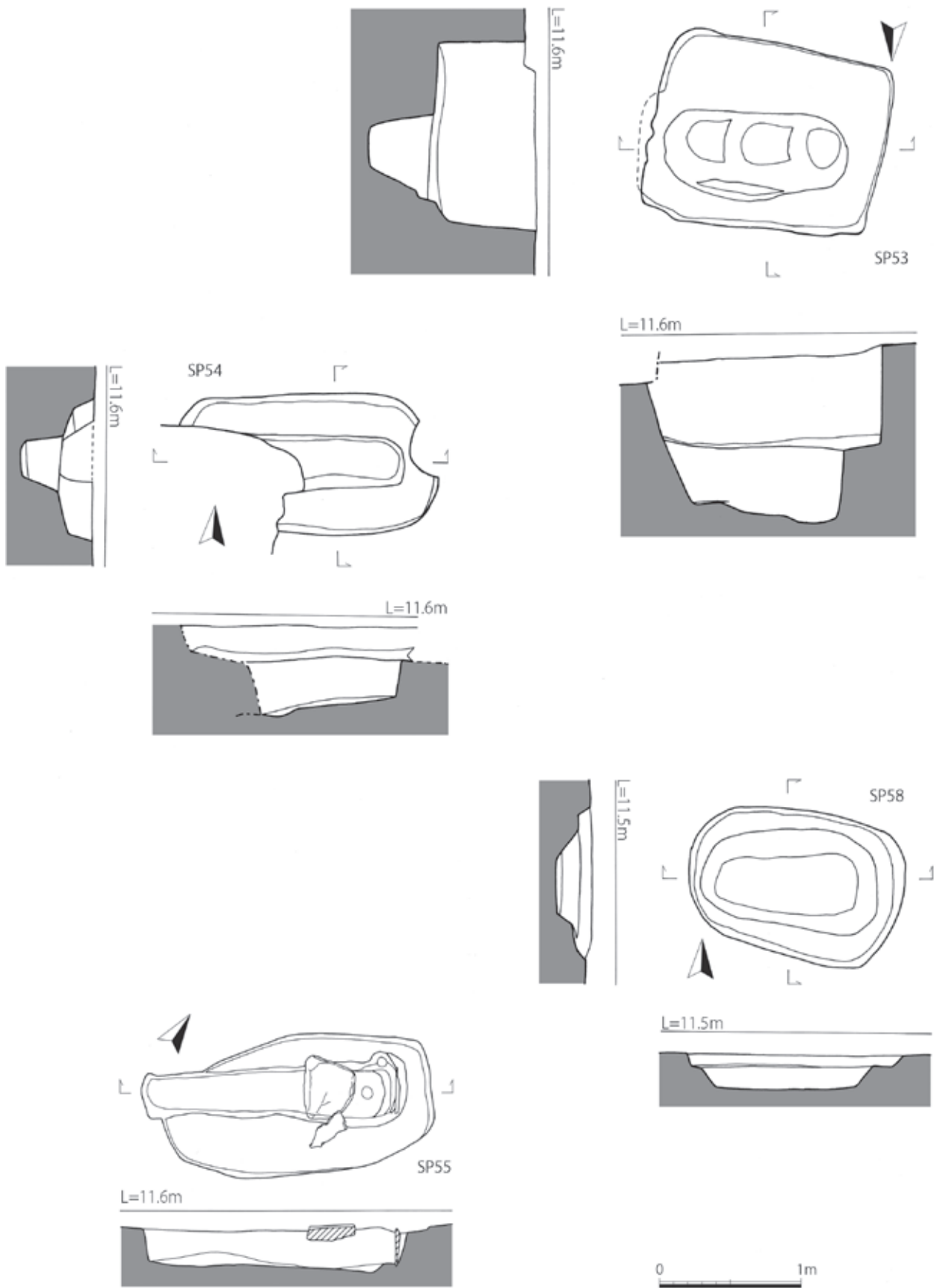


图 15 土壙墓 4 SP53 · SP54 · SP55 · SP58 (1/40)



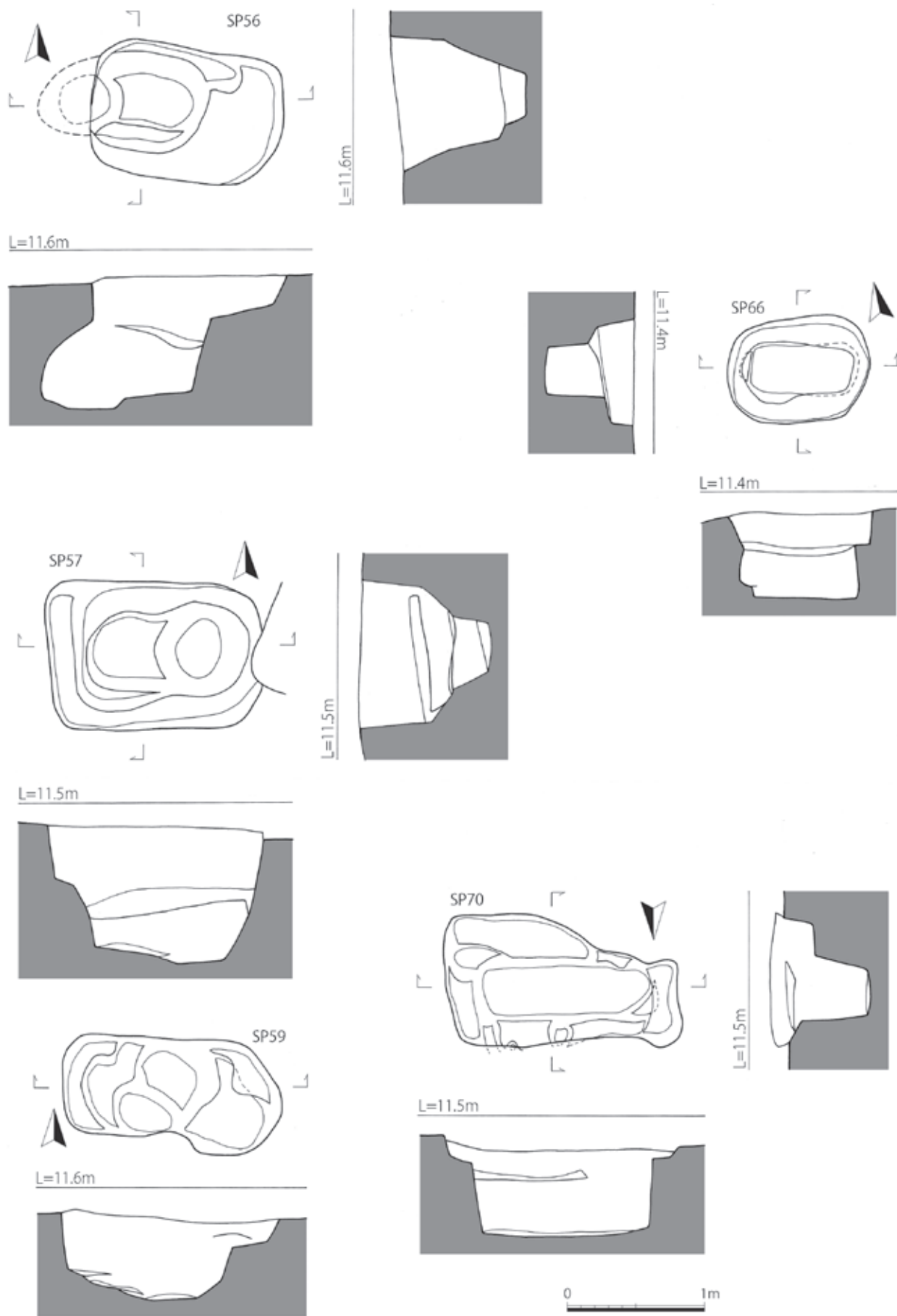


图 16 土壙墓 5 SP56 · SP57 · SP59 · SP66 · SP70 (1/40)

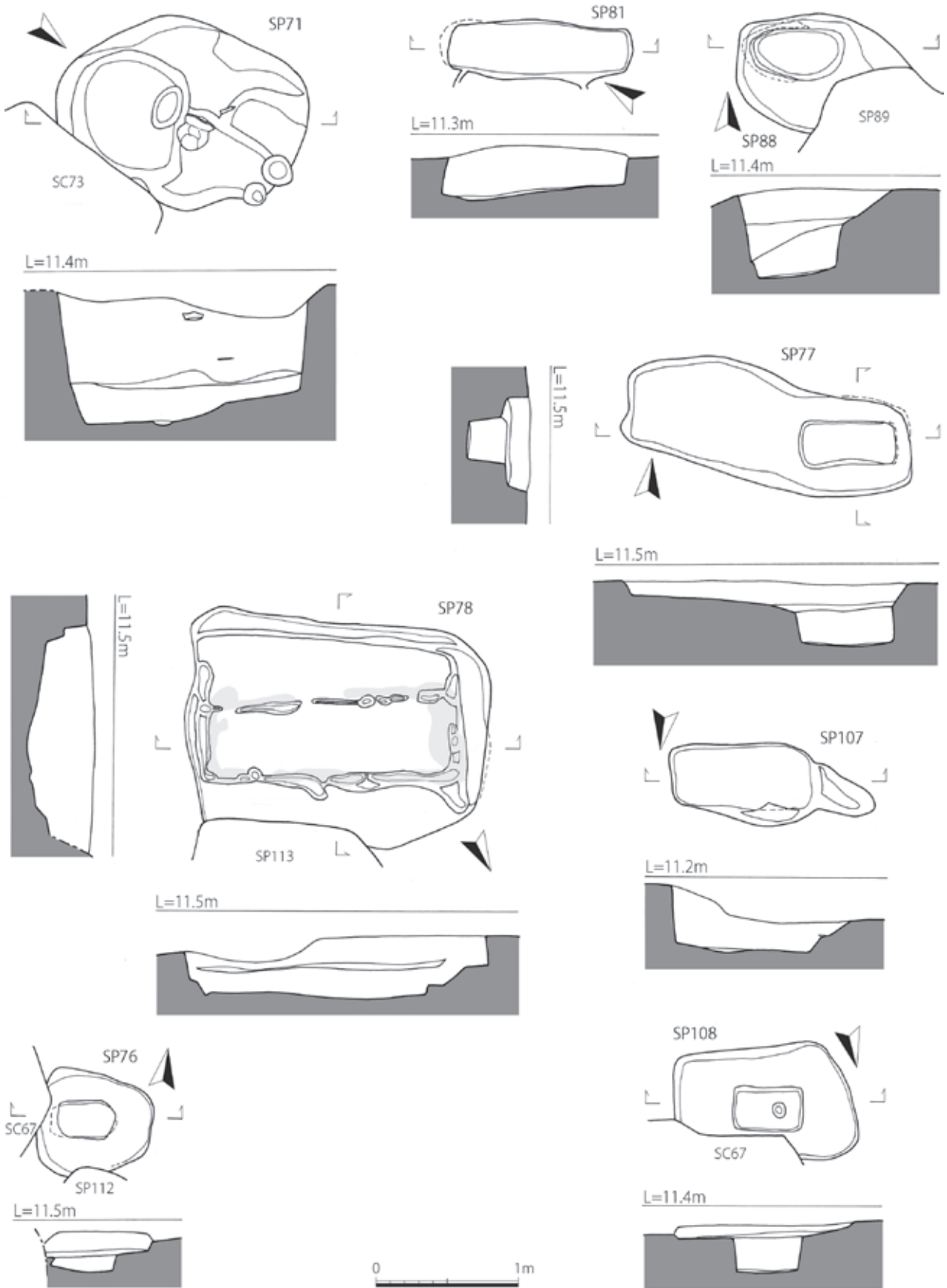


图 17 土墳墓 6 SP71・SP76・SP77・SP78・SP81・SP88・SP107・SP108 (1/40)

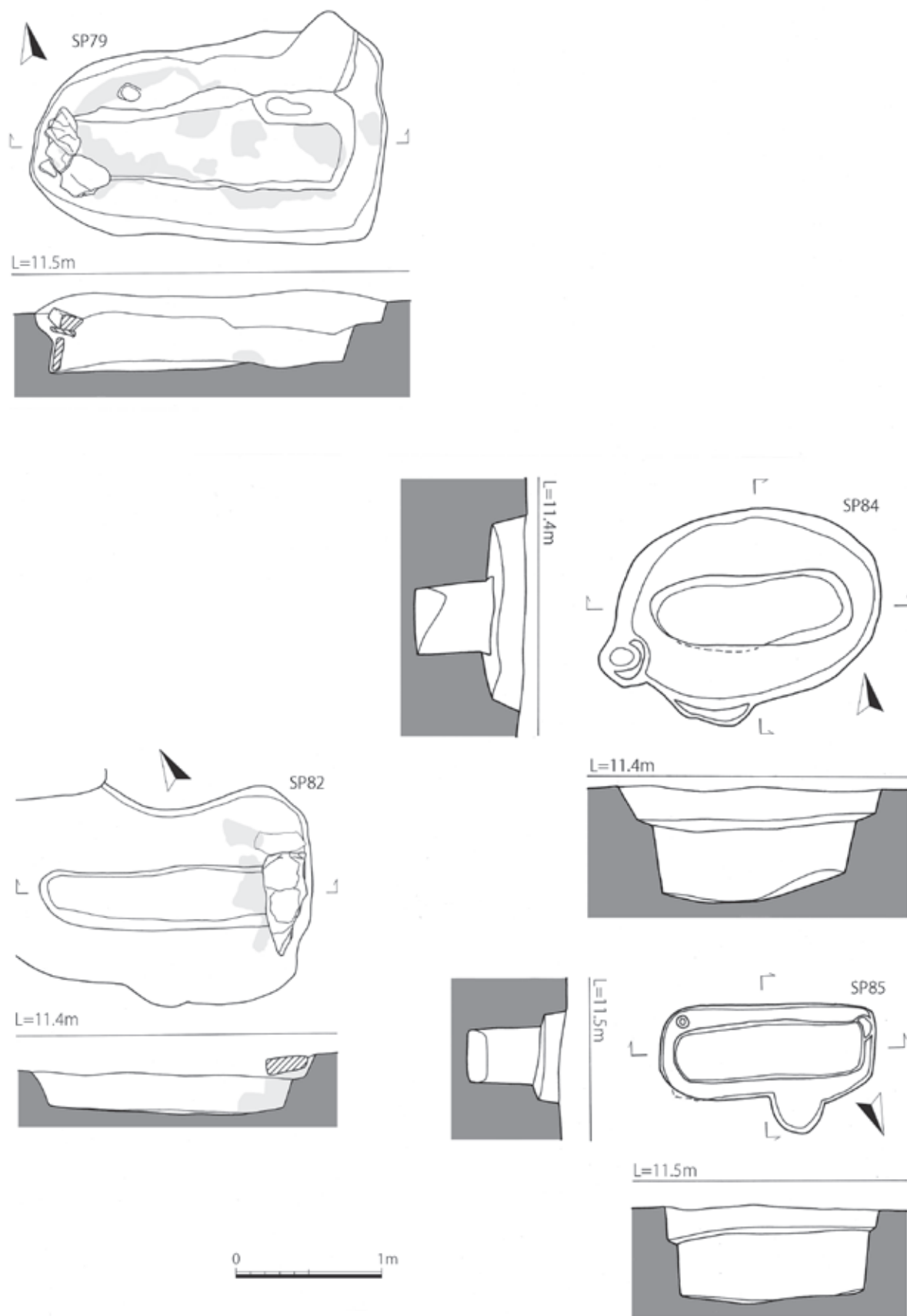


图 18 土壙墓 7 SP79 · SP82 · SP84 · SP85 (1/40)

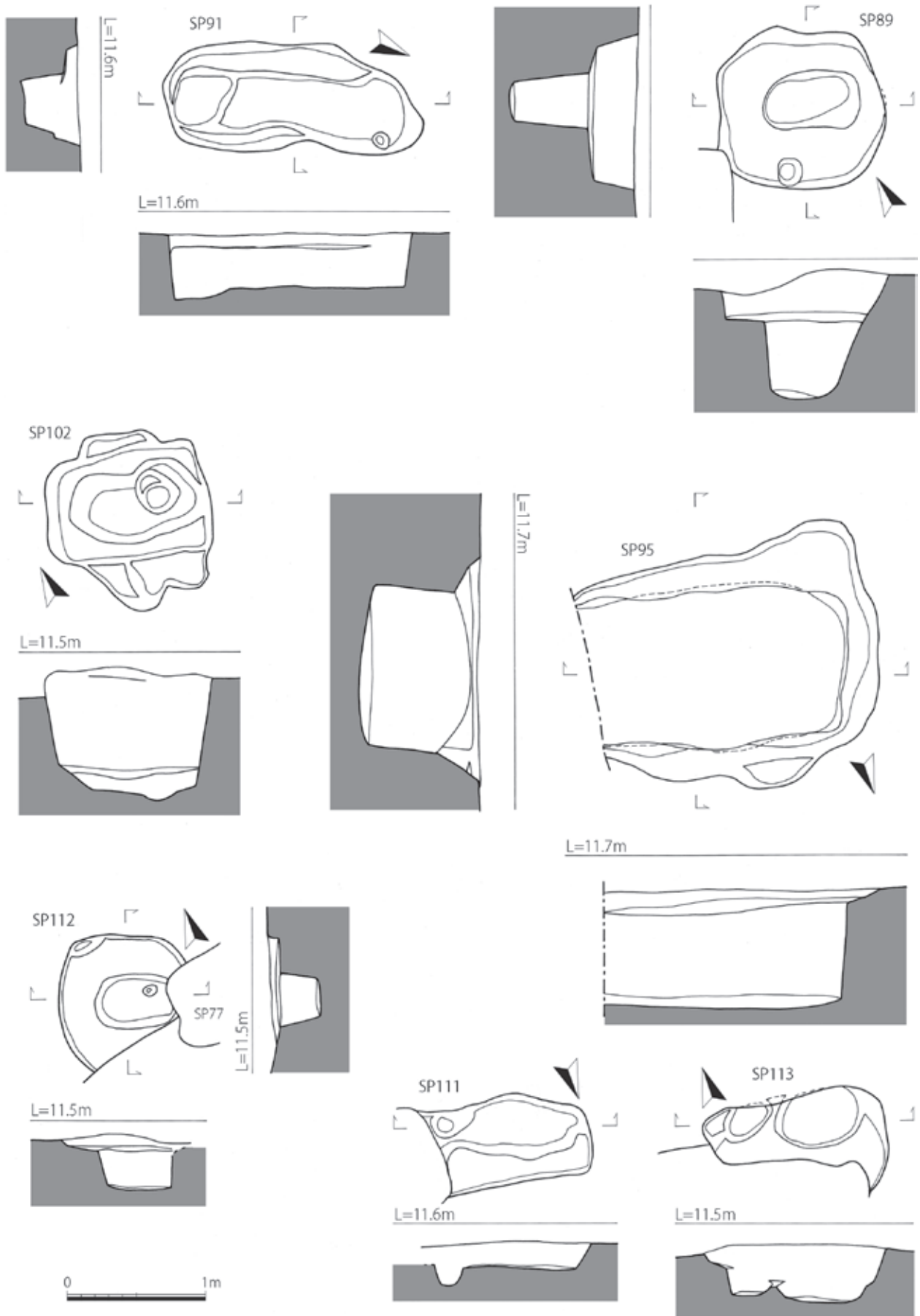


图 19 土壙墓 8 SP89 · SP91 · SP95 · SP102 · SP111 · SP112 · SP113 (1/40)

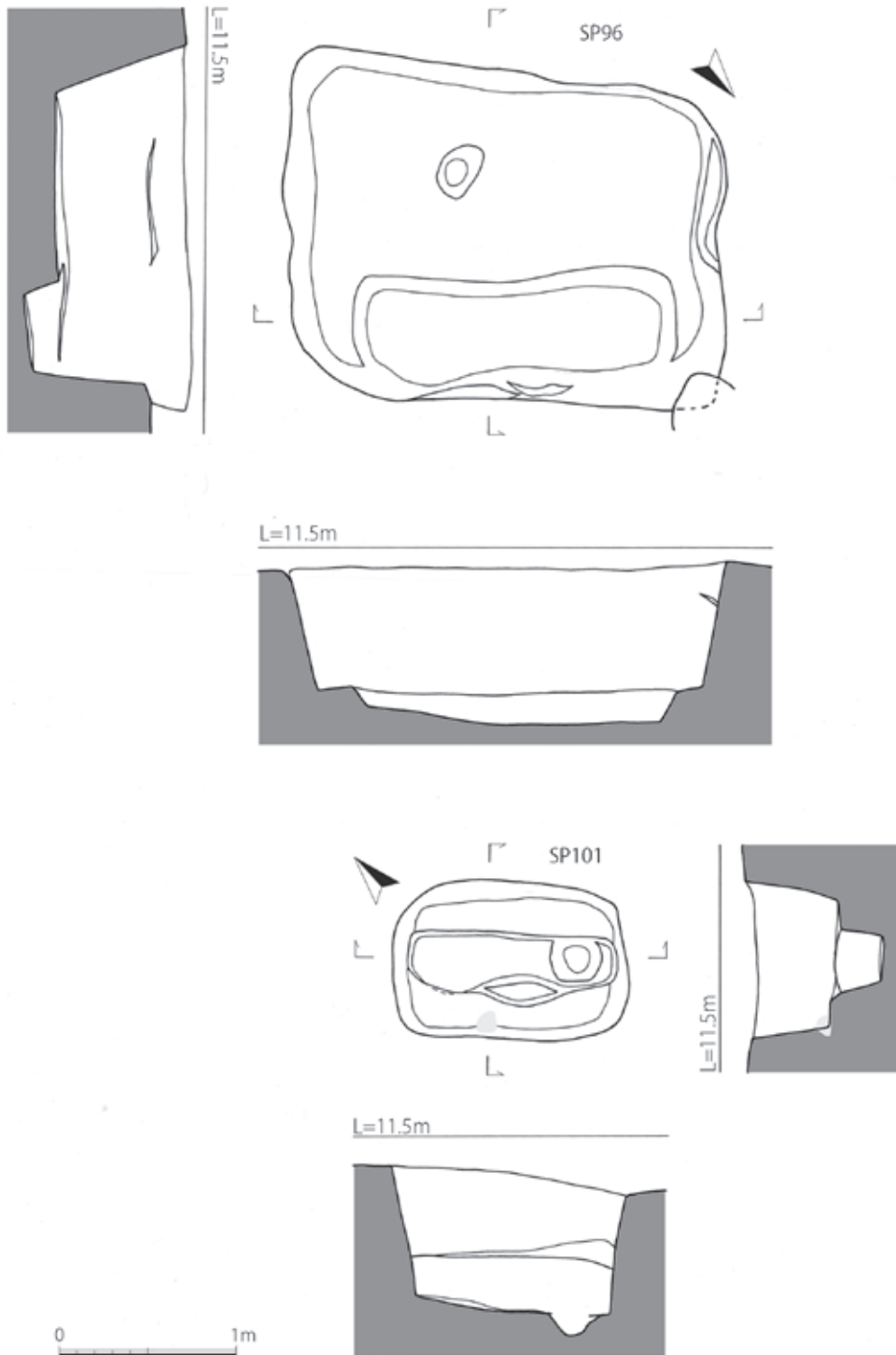


图 20 土墳墓 9 SP96・SP101 (1/40)

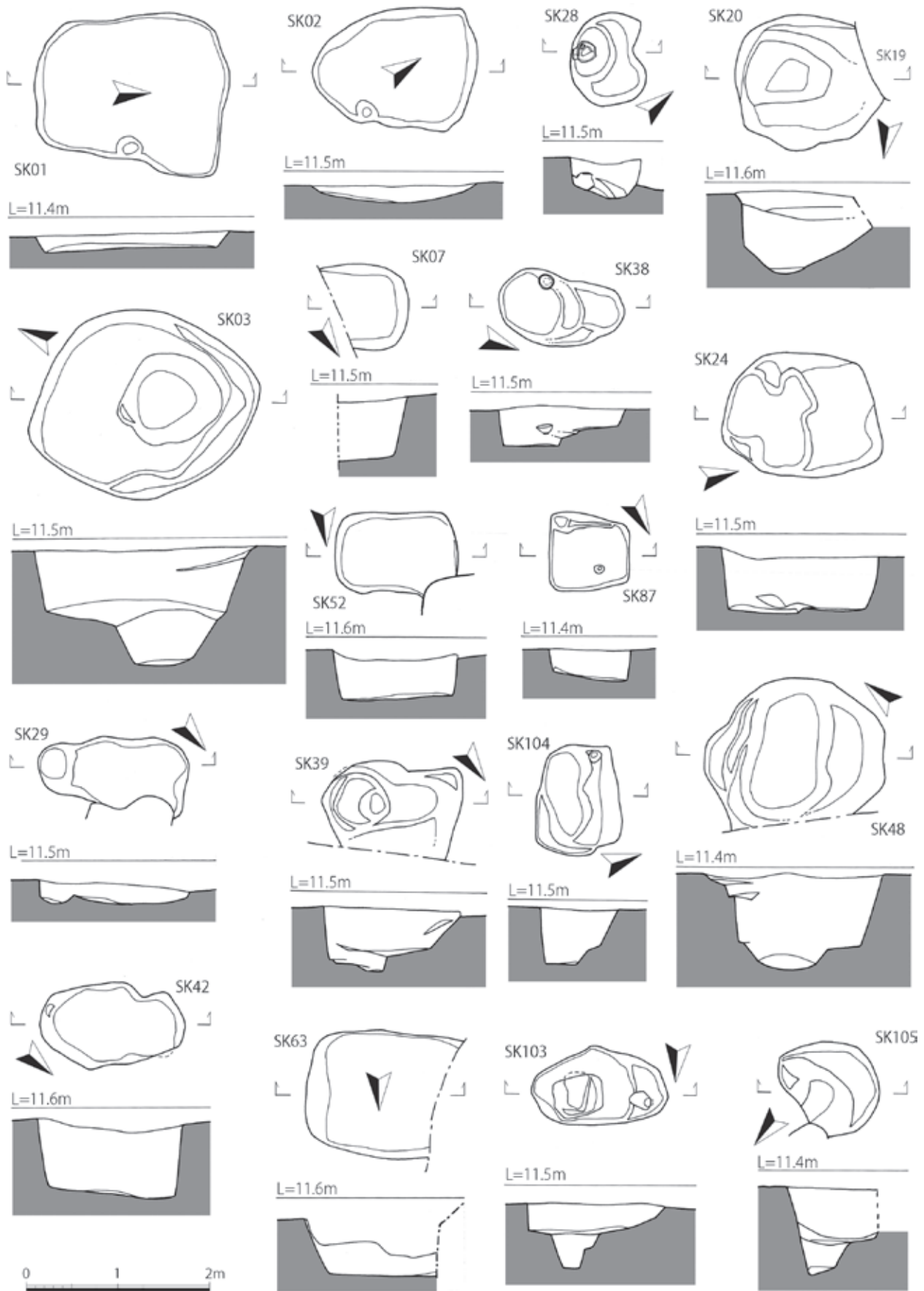


图 21 土坑 1 SK01 · SK02 · SK03 · SK07 · SK20 · SK24 · SK28 · SK29 · SK38  
 · SK39 · SK42 · SK48 · SK52 · SK87 · SK63 · SK103 · SK104 · SK105 (1/60)

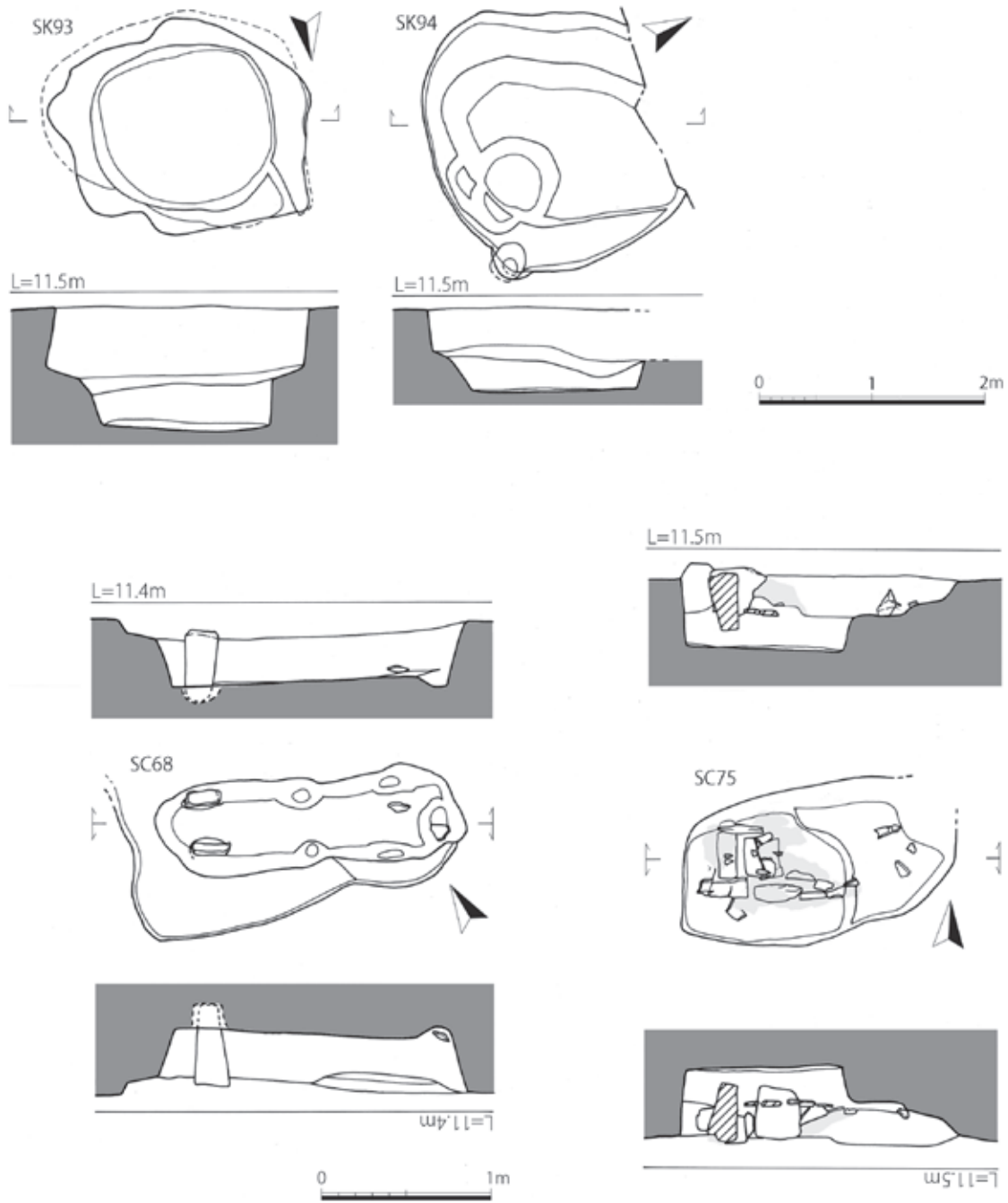


图 22 土坑 2 SK93 · SK94 (1/60) 石棺墓 1 SC68 · SC75 (1/40)

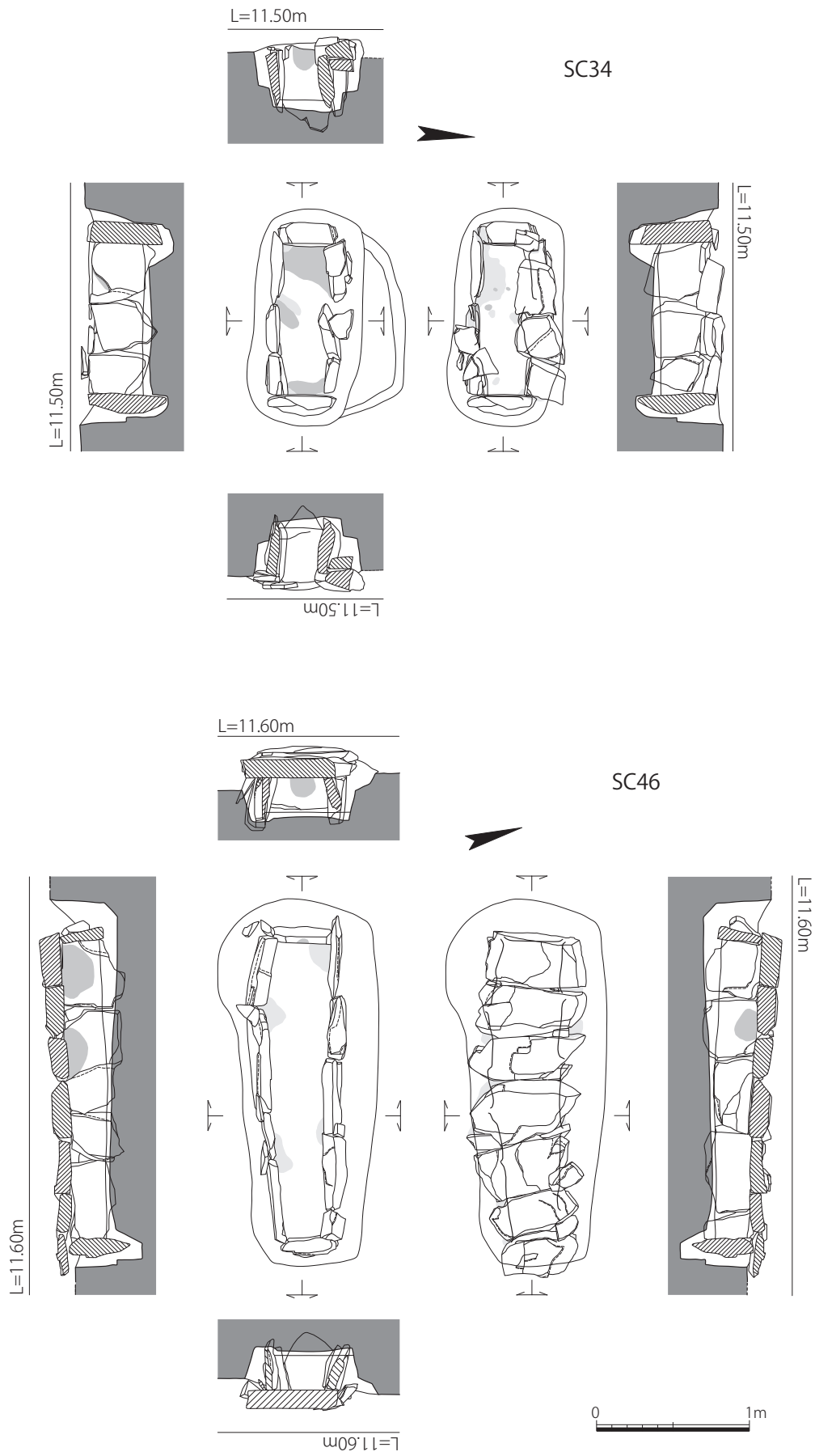


图 23 石棺墓 2 SC34·SC46 (1/40)



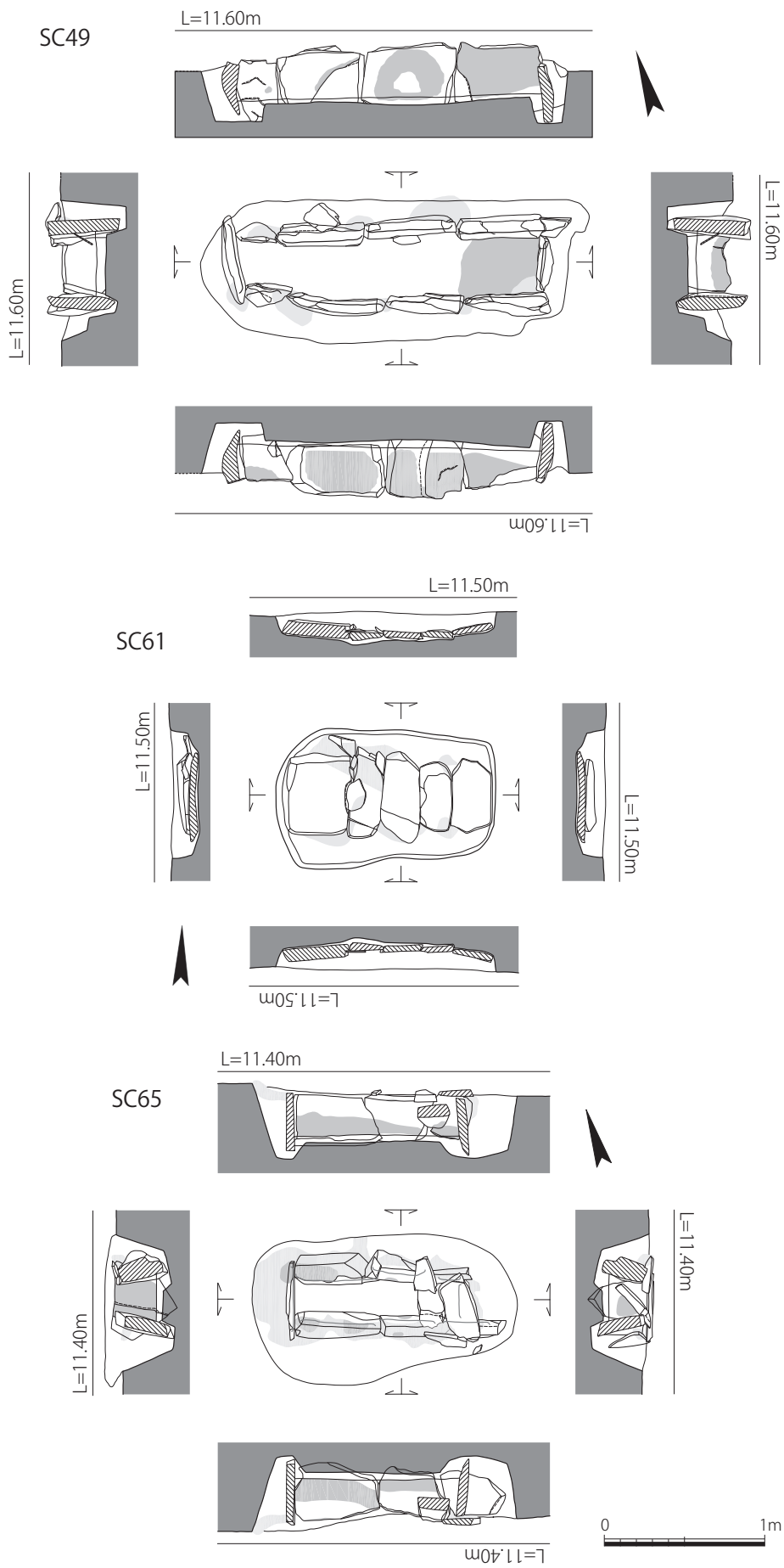
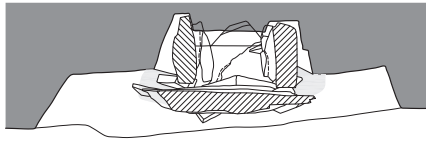
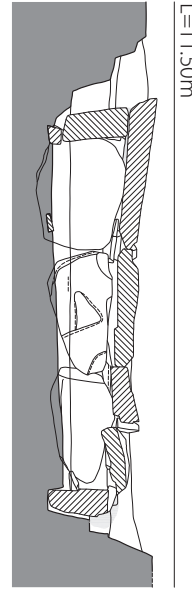
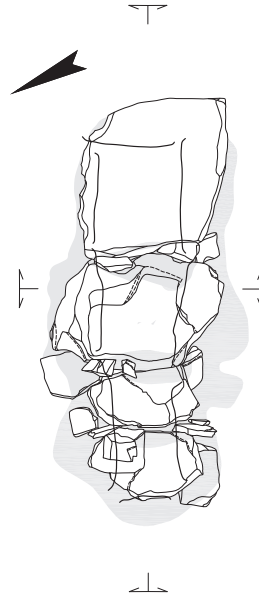
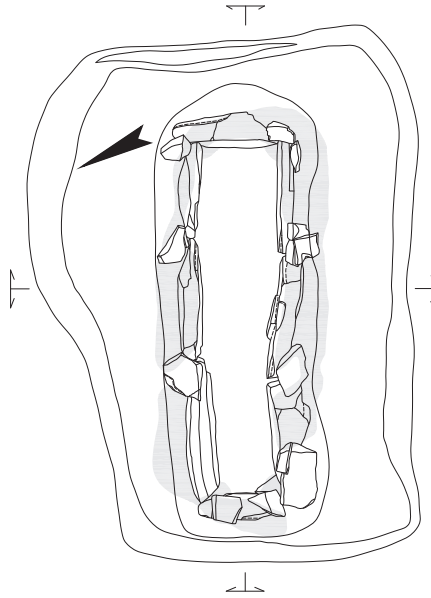
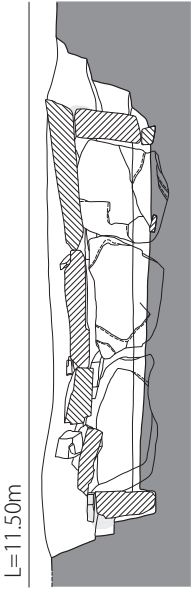
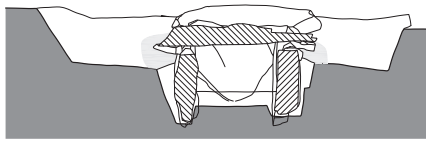


图 24 石棺墓 3 SC49 · SC61 · SC65 (1/40)

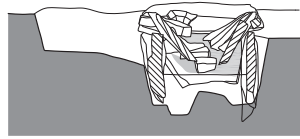
SC67

L=11.50m

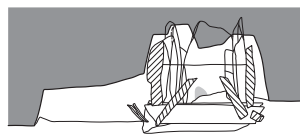
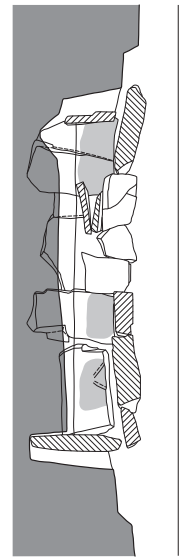
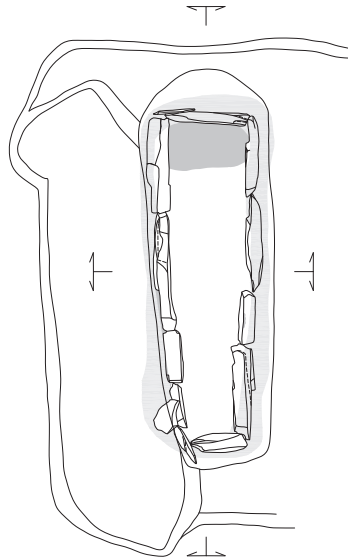
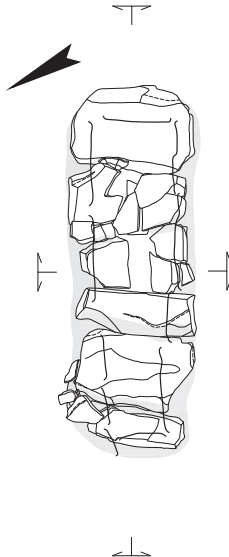
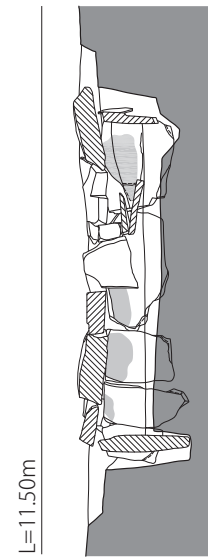


L=11.50m

L=11.50m



SC72



L=11.50m



图 25 石棺墓 4 SC67 · SC72 (1/40)

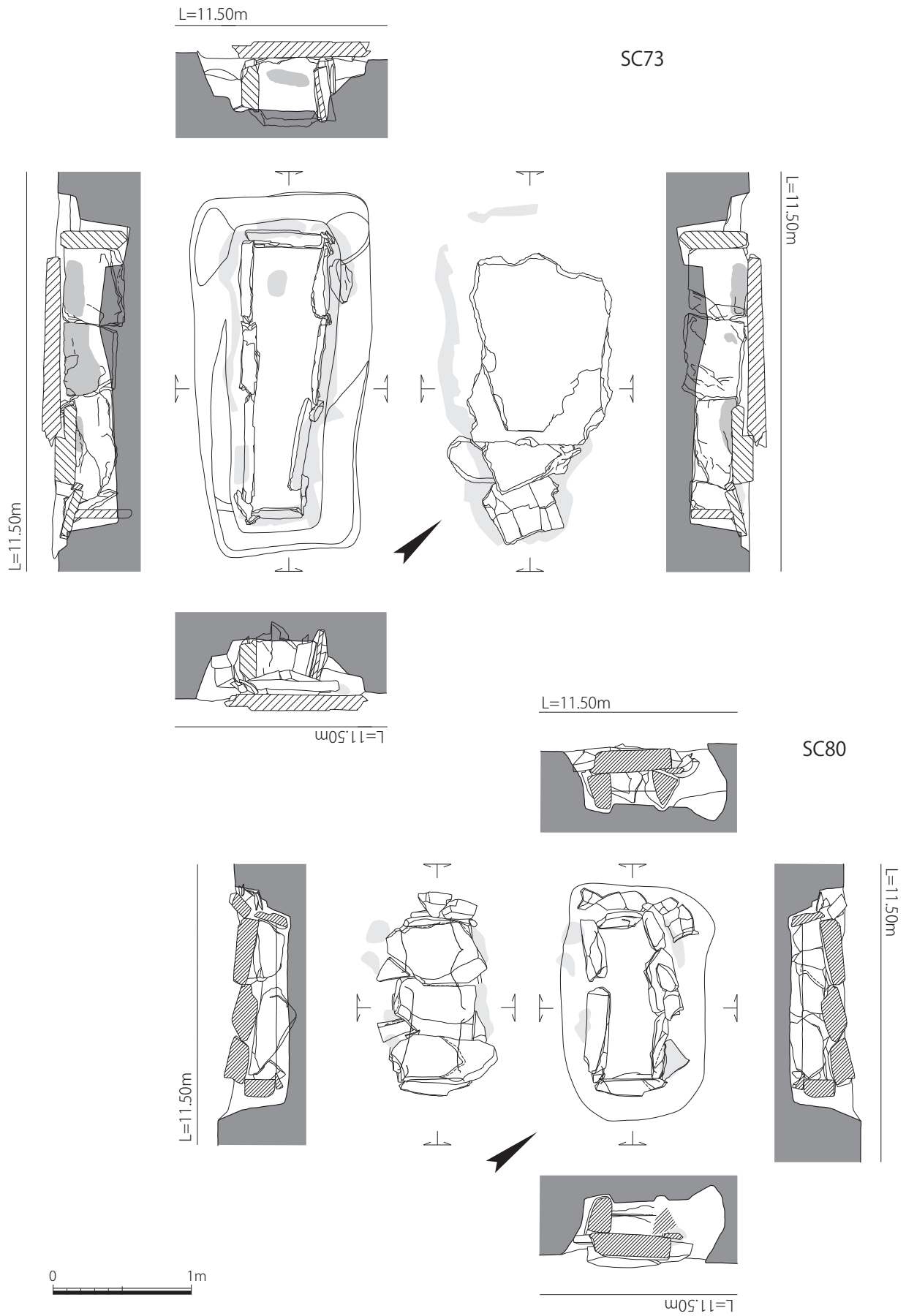


图 26 石坟墓 5 SC73 · SC80 (1/40)

表1 竈棺蓋一覽表

遺構番号	挿図番号	構造		竈棺形式		竈の位置		1次墓壇			2次墓壇			新旧関係		備考
		上甕	下甕	規模	主軸方位	角度	平面形	規模(長×幅×深)	長さ	短軸	長軸	旧	新			
S J 04	図9	甕	甕	完	完	N60W	-8	隅丸長方形?	65+	83	50	—	—	SP05	—	目張り粘土 小児棺
S J 08	図6	甕	甕	完	完	S65W	6	長方形	175	135	55	195	75	—	—	—
S J 10	図6	甕	甕	完	完	S54W	-2	隅丸長方形?	220	110+	70	210	90	—	—	—
S J 12	図9	甕	甕	完	完	N80W	6	楕円形	97	80	17	85	75	—	—	小児棺
S J 13	図9	甕	甕	完	完	S69W	4	長方形	125	80	40	90	45	SJ15	SJ14	目張り粘土 小児棺
S J 14	図7	甕	甕	完	完	N62E	30	隅丸長方形?	120+	100+	110	160+	75	SJ15、SP26?	—	—
S J 15	図7	甕	甕	完	完	S85E	30	長方形	180	110+	85	170	85	—	SJ13、14	—
S J 16	図9	甕	甕	完	完	N67E	4	長方形	185	110	70	165	80	—	—	—
S J 18	図9	—	—	—	壺	S35W	30	—	55	50	35	—	—	—	—	小児棺
S J 22	図9	甕	甕	完	完	N84E	-10	長方形	120	75	40	90	40	—	—	目張り粘土 小児棺
S J 27	図10	—	—	—	鉢	N87W	-21	長方形	215	120	60	—	—	—	—	—
S J 31	図9	甕?	甕?	完	完	S77W	44	長方形	110	75	30	55+	45	—	—	目張り粘土 小児棺
S J 32	図10	甕	甕	欠	甕	N7E	41	長方形?	80+	75+	60	70	45	—	—	小児棺
S J 33	図10	甕	甕	完	完	N80E	-4	方形	230	130	40	160	70+	—	SC34	小児棺
S J 37	図10	甕	甕	完	完	S46E	43	楕円形?	60	50+	40	40	35	SJ19	SP40	小児棺
S J 40	図8	甕	甕	完	完	S85E	30	長方形	210	145	85	145	70	—	—	—
S J 41	図10	甕	甕	完	完	N76E	-4	楕円形	185	120	65	120	75	—	SK42	—
S J 44	図8	甕	甕	欠?	甕	S70E	32	長方形	140	80	40	140	75	—	—	—
S J 60	図8	甕	甕	欠	甕	S74E	35	隅丸長方形?	110+	80+	85	150	75	—	—	—
S J 62	図10	甕	甕	完	完	S88E	0	長方形	130	80	80	95	55	—	SC67、SP108	小児棺
S J 64	図11	甕?	甕?	完?	完?	N90W	30?	方形?	80	60	25	50	40	—	—	—
S J 69	図11	—	—	—	甕	S84W	—	—	—	—	—	90+	60+	—	—	下甕 2次墓壇のみ残存
S J 83	図11	—	—	—	甕	S23W	—	—	—	—	—	70+	50+	—	—	下甕 2次墓壇のみ残存
S J 86	図11	甕	甕	完	完	N62E	-6	方形	230	130	90	200	90	—	—	目張り粘土
S J 90	図11	甕	甕	完	完	N67W	15	隅丸長方形?	140	90	30	90	55	—	—	—
S J 92	図11	甕	甕	完	完	N72E	18	楕円形	145	95	15	85	60	—	—	—
S J 98	図11	甕	甕	完	完	S89E	24	方形?	80+	80+	60	60	60	—	SJ37	小児棺
S J 99	図12	甕	甕	—	甕	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
S J 100	図12	甕	甕	完	完	S22W	—	楕円形	170	80	10	140	65	—	—	—

表2 土墳墓一覽表1

遺構番号	挿図番号	主軸方位	1次墓壇			2次墓壇			新旧関係		備考	
			平面形	長軸	短軸	深さ	長軸	短軸	深さ	旧		新
S P 05	図12	S 59 E	隅丸長方形	160+	110	20	140	50	40	—	SJ04	—
S P 06	図12	N 20 E	隅丸方形	80	55	45	60	35	10	—	—	—
S P 09	図12	N 50 W	隅丸長方形	140	80	65	75	40	40	—	—	—
S P 11	図12	—	隅丸長方形?	150	—	55	—	—	—	—	SJ10、SP25	1次墓壇の一部残
S P 40	図12	N 79 W	隅丸長方形	120	85	40	55	25	20	SJ37	—	木棺墓?
S P 21	図13	S 10 E	隅丸長方形	200	140	30	125	60	35	—	—	—
S P 23	図13	S 5 E	楕円形	180	130	60	100	65	15	—	—	—
S P 25	図13	—	—	140+	—	68	74	40+	40	—	SJ10	—
S P 26	図13	—	隅丸長方形?	230+	90+	47	205+	48	45	—	SJ14	S J 1 4に平面図のみ
S P 30	図13	N 5 E	—	—	—	—	130	60	50	—	—	2次墓壇のみ残
S P 35	図13	N 25 W	—	140	80+	75	106	52	19	—	SJ31	S J 3 1下
S P 36	図14	—	—	—	—	—	95	65	30	—	SJ32	2次墓壇のみ残
S P 43	図14	N 15 W	隅丸長方形	230	150	10	170	80	30	—	—	—
S P 45	図14	N 15 W	長方形	170	95	40	105	60	45	—	SC46	—
S P 47	図14	N 82 W	隅丸長方形	200	100	5	185	55	25	—	SP10	長軸端に立石
S P 50	図14	N 90 W	隅丸長方形	215	120	44	153	70	30	—	SP51	—
S P 51	図14	N 75 W	隅丸長方形	130	90	5	96	46	41	SP50	SC49	—
S P 53	図15	N 89 W	長方形	170	130	69	126	60	53	SK52、SP54	—	—
S P 54	図15	N 85 E	隅丸長方形?	160+	100	28	80+	38	30	—	SP53	—
S P 55	図15	S 54 E	隅丸長方形?	200+	100	5	185	45	30	—	—	石蓋
S P 56	図16	N 88 W	隅丸長方形	142	100	32	123	72	67	—	—	—
S P 57	図16	N 86 W	隅丸長方形	158	110	52	118	68	45	—	SC68	—
S P 58	図15	N 86 E	楕円形	152	104	8	122	72	17	—	—	—
S P 59	図16	N 90 W	—	—	—	—	150	62	67	—	SP40	—
S P 66	図16	N 78 W	楕円形	102	74	21	85	38	31	SC65	—	—

表2 土壇墓一覽表2

遺構番号	棟図番号	主軸方位	1次墓壇		2次墓壇		新旧関係	備考					
			平面形	長軸	短軸	深さ			長軸	短軸	深さ	旧	新
S P 70	図16	N90E	隅丸長方形	168	98	26	128	46	57	—	—	—	—
S P 71	図17	—	—	194+	130	101	—	—	—	—	—	SC73、SK114	銅矛切先 石剣等
S P 74	—	S34W	隅丸長方形?	75+	89	7	90	48	38	—	—	SC73	—
S P 76	図17	S82W	楕円形	76+	66	15	40	25	24	—	—	SC67	—
S P 77	図17	N85E	隅丸長方形?	80+	70	15	68	30	24	—	—	—	—
S P 78	図17	N62W	隅丸長方形	215	160+	33	175	60	10	—	—	—	木棺墓
S P 79	図18	S80E	隅丸長方形?	240	150	20	210	70	35	—	—	—	石蓋 長軸東端立石
S P 81	図17	S33E	—	—	—	—	128	40	40	—	—	—	2次墓壇のみ残
S P 82	図18	S62E	—	—	—	—	170	45	30	—	—	—	石蓋
S P 84	図18	S7E	楕円形	180	134	15	138	50	35	—	—	—	—
S P 85	図18	N70W	隅丸長方形	147	62	21	130	40	50	—	—	—	—
S P 88	図17	S20E	楕円形?	100+	80	14	64	36	44	—	—	SP89	—
S P 89	図19	N60W	隅丸長方形	118	113	31	70	40	57	SP88	SK87	—	—
S P 91	図19	N24W	—	—	—	9	180	48	37	—	—	—	—
S P 95	図19	—	隅丸長方形?	208+	180	31	160+	112	75	—	—	—	—
S P 96	図20	N51W	隅丸長方形	252	230	76	185	60	21	—	—	—	—
S P 101	図20	N46W	隅丸長方形	130	90	51	116	40	36	—	—	—	—
S P 102	図19	N65W	隅丸長方形	120	80	70	100	48	17	—	—	—	—
S P 107	図17	N80E	—	—	—	—	102	56	43	—	—	SC67	2次墓壇のみ残
S P 108	図17	N77W	隅丸長方形	128	82	10	48	30	21	—	—	SC67	—
S P 109	—	S67E	隅丸長方形	106	48	19	56	46	29	—	—	SC67	—
S P 110	—	N88E	—	—	—	—	118	62	48	SP47	SC46、49	—	2次墓壇のみ残
S P 111	図19	—	—	—	—	—	120+	42	20	—	—	SP52	2次墓壇のみ残
S P 112	図19	N70W	隅丸長方形	90+	90+	4	61	38	34	SP76	SP75、76	—	2次墓壇のみ残
S P 113	図19	—	—	—	—	—	64	42	42	—	—	—	2次墓壇のみ残

表3 土坑一覧表

遺構番号	挿図番号	平面形	規模			新旧関係		備考
			規模 (長×幅×深)	旧	新			
S K01	図21	方形	208	170	25	—	—	—
S K02	図21	楕円形?	175	130	23	—	—	—
S K03	図21	楕円形	250	206	127	—	—	—
S K07	図21	長方形?	90+	90	69	—	—	西半攪乱で破壊
S K19	—	楕円形	120	90	50	SK20	SJ18	—
S K20	図21	円形	160	145	90	—	SK19	—
S K24	図21	長方形?	164+	138	71	—	—	北部攪乱で破壊、北西部分甕棺痕跡?
S K28	図21	不定形	98	64	44	SK29	—	弥生土器 壺
S K29	図21	不定形	162	80+	24	—	SK28	—
S K38	図21	楕円形	130	80	40	—	—	中世 瓦器碗
S K39	図21	楕円形	148	73	68	—	—	—
S K42	図21	楕円形	160	120	80	—	SJ41	—
S K48	図21	楕円形	194	156+	105	—	—	南半攪乱で破壊
S K52	図21	長方形	132	84	54	SP111	SP53	—
S K63	図21	長方形?	170+	125	66	—	—	西半攪乱で破壊
S K87	図21	方形	84	82	32	—	—	—
S K93	図22	不定形	235	184	108	—	—	—
S K94	図22	楕円形?	220+	220	73	—	—	—
S K103	図21	楕円形	144	88	70	—	—	—
S K104	図21	長方形	116	88	64	—	—	—
S K105	図21	不定形	100	100	50	—	—	—
S K106	—	方形	130	90	60	—	SC75	—
S K114	—	—	68+	70	80	SP71	—	弥生土器 壺

表4 石棺墓一覽表

遺構番号	挿図番号	主軸方位	1次臺壇				2次臺壇			新旧関係		備考
			平面形	長軸	短軸	深さ	長軸	短軸	深さ	旧	新	
S C34	図23	S 86W	隅丸長方形	145	70	30	130	50	15	SJ33	—	—
S C46	図23	N73W	隅丸長方形	245	105	10	240	75	20	SP45, 110	—	鉄鍍
S C49	図24	S 73E	—	—	—	—	230	90	30	SP51	—	—
S C61	図24	S 89E	隅丸長方形(台形)	140	85	20	—	—	—	—	—	疑似石棺(石蓋?) 主体部無し
S C65	図24	N72W	—	—	—	—	165	90	35	—	SP66	石材未塗
S C67	図25	S 65E	隅丸長方形	275	205	30	240	85	20	S P76, 107, 108, 109, SJ62	—	—
S C68	図22	S 61E	—	—	—	9	182	55	32	SP57	—	石抜き跡
S C72	図25	S 61E	隅丸長方形?	255	150+	25	215	70	30	SK114	SC73	石材未塗
S C73	図26	N50W	長方形	260	130	10	212	80	35	SK114, SP71・74, SC72	—	石材未塗
S C75	図22	N85W	—	—	—	—	—	80	50	SK106, SP112	SP77?	東半破壊
S C80	図26	S 53E	隅丸長方形?	150	90	20	135	65	20	—	—	—



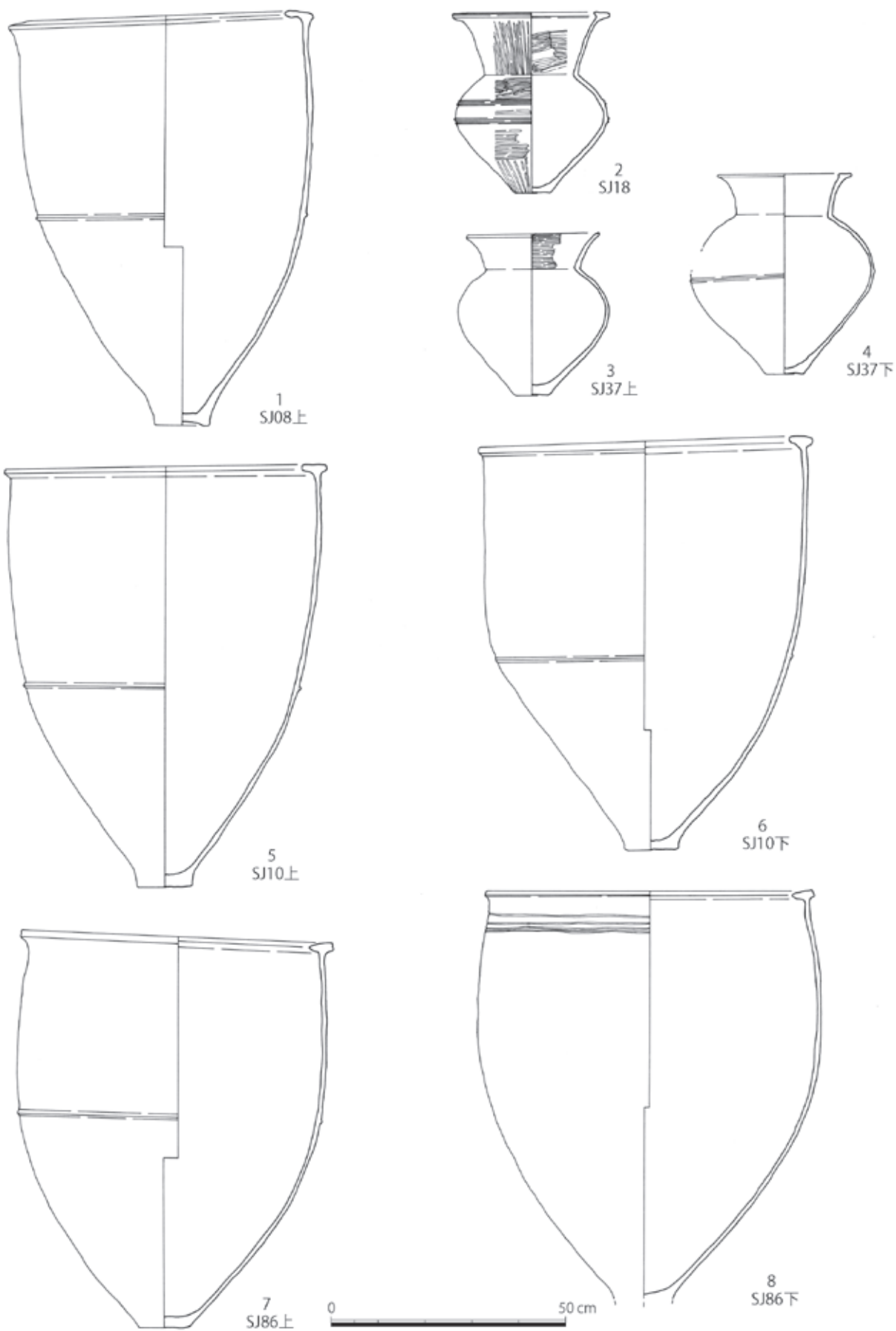


图 27 出土遺物 1 (1/12)

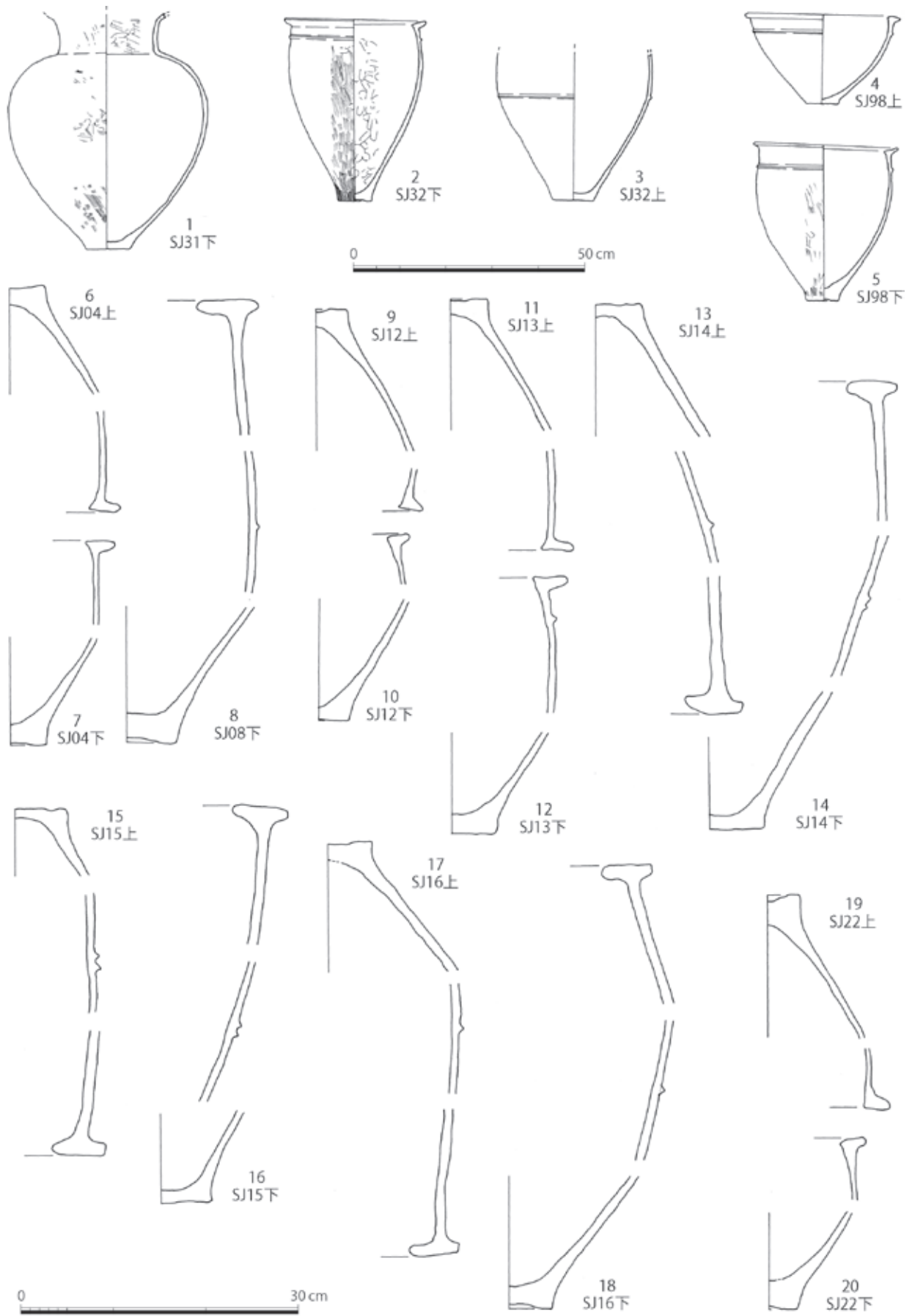


图 28 出土遺物 2 (1/12 · 1/6)

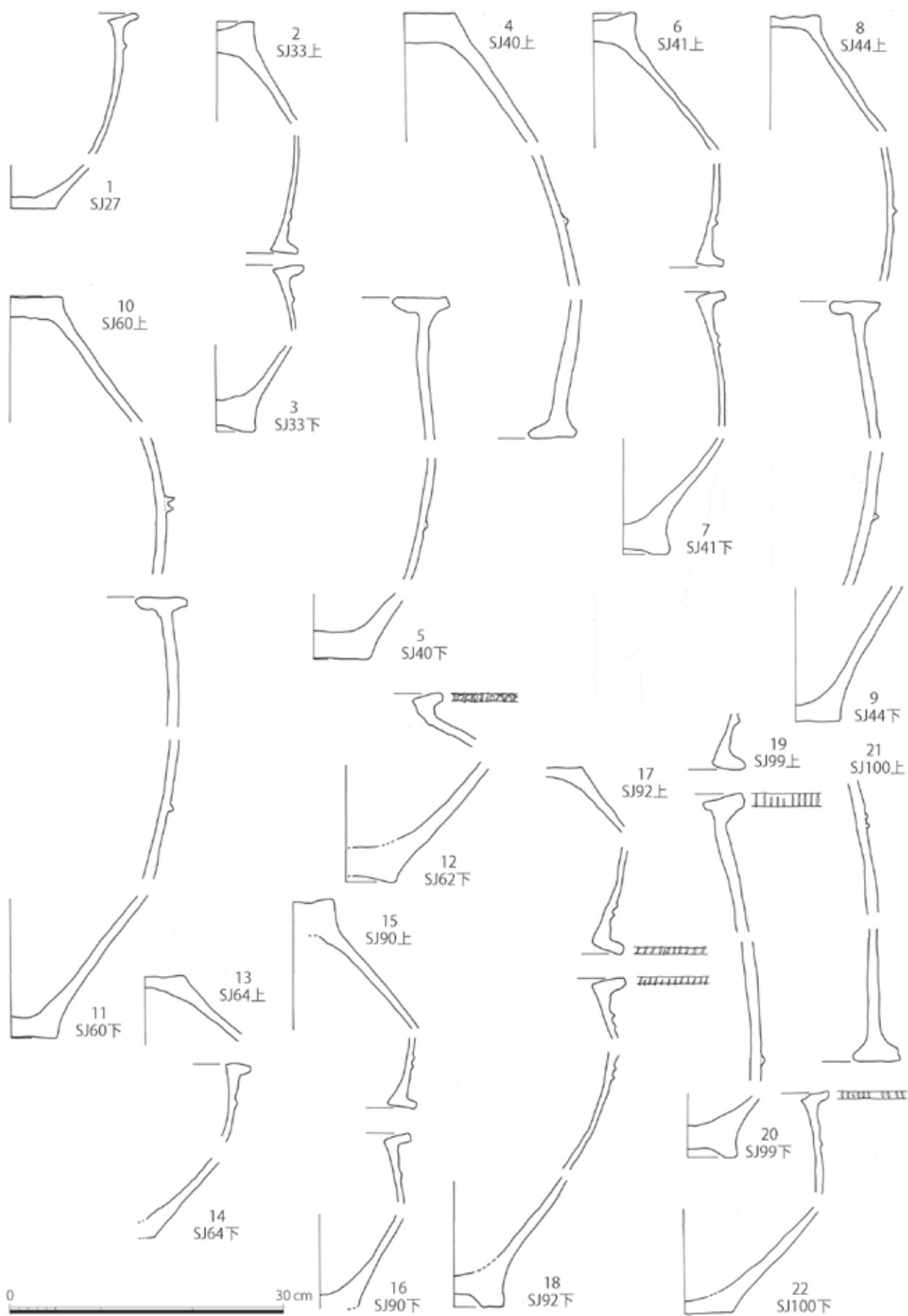


图 29 出土遺物 3 (1/6)

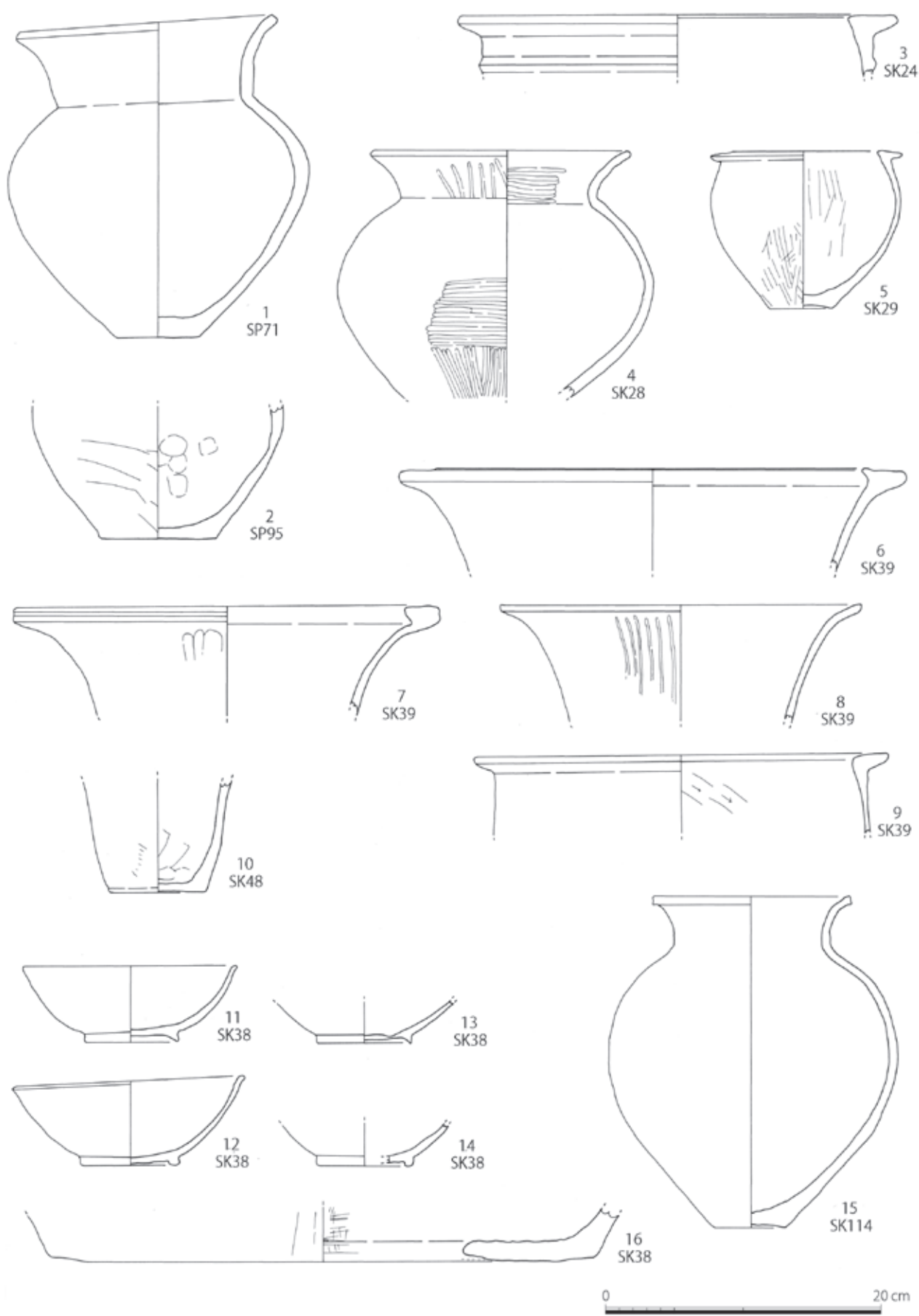


图 30 出土遺物 4 (1/4)

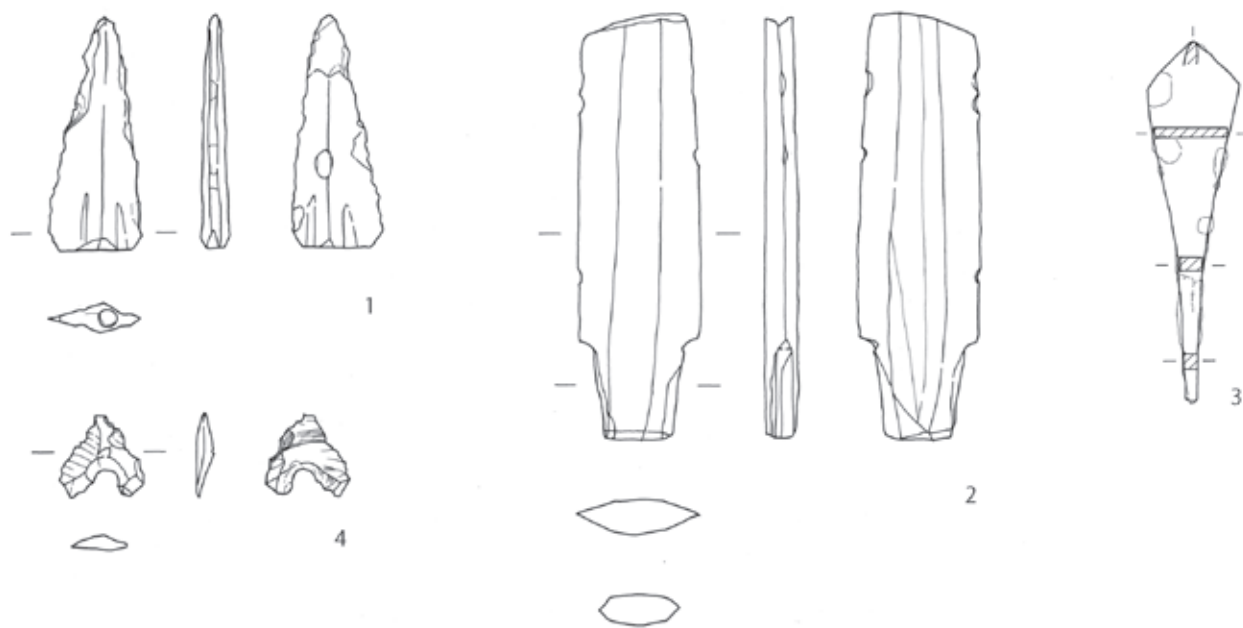


图 31 出土遺物 5 (1/2)

表5 出土遺物一覽表

番号 挿図	遺物	出土位置	種別	器種	寸法 (復元)			色調		備考	登録番号
					口径	器高	底径	外面	内面		
図27	1	SJ08上	弥生土器	甕	63.5	86	11.4	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	-	150151
図27	2	SJ18	弥生土器	壺	-32.9	38.2	7.7	にぶい橙色	にぶい橙色	-	150079
図27	3	SJ37上	弥生土器	壺	27.5	34	7	黄褐色	黄褐色	-	150087
図27	4	SJ37下	弥生土器	壺	27.7	-	8	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	-	150092
図27	5	SJ10上	弥生土器	甕	67.2	89	11.2	にぶい黄橙色	にぶい黄橙色	-	150117
図27	6	SJ10下	弥生土器	甕	69.8	87.3	11.3	橙色	橙色	-	150118
図27	7	SJ86上	弥生土器	甕	65	83.7	10.4	明黄褐色	明黄褐色	-	150150
図27	8	SJ86下	弥生土器	甕	68.8	-85.4	-	浅黄褐色	浅黄褐色	底部欠損	150149
図28	1	SJ31下	弥生土器	壺	-	-50	9.4	浅黄褐色	浅黄褐色	口縁部欠損	150144
図28	2	SJ32下	弥生土器	甕	-	-31.3	8.8	橙色	橙色	口縁部欠損	150120
図28	3	SJ32上	弥生土器	甕	30.2	38.8	7	橙色	橙色	-	150119
図28	4	SJ98上	弥生土器	鉢	33.2	18.8	6.9	橙色	橙色	-	150122
図28	5	SJ98下	弥生土器	甕	30.9	33.5	7	橙色	橙色	-	150121
図28	6	SJ04上	弥生土器	甕	-33	-	7.2	橙色	橙色	-	150105
図28	7	SJ04下	弥生土器	甕	-31.5	-	7.4	明赤褐色	明赤褐色	-	150104
図28	8	SJ08下	弥生土器	甕	-52.8	-	10.4	橙色	橙色	-	150093
図28	9	SJ12上	弥生土器	甕	-23	-	6.7	明黄褐色	明黄褐色	-	150108
図28	10	SJ12下	弥生土器	甕	-26	-	6.5	浅黄褐色	浅黄褐色	-	150109
図28	11	SJ13上	弥生土器	甕	-32.6	-	7.8	橙色	橙色	-	150113
図28	12	SJ13下	弥生土器	甕	-35	-	9.2	明黄褐色	明黄褐色	-	150110
図28	13	SJ14上	弥生土器	甕	-60	-	10	橙色	橙色	-	150132
図28	14	SJ14下	弥生土器	甕	-61	-	11.8	橙色	橙色	-	150134
図28	15	SJ15上	弥生土器	甕	-63	-	11.2	橙色	橙色	-	150138
図28	16	SJ15下	弥生土器	甕	-62	-	10.6	橙色	橙色	-	150137
図28	17	SJ16上	弥生土器	甕	-57	-	9.6	橙色	橙色	-	150140
図28	18	SJ16下	弥生土器	甕	-58	-	9.2	にぶい橙色	にぶい橙色	-	150099
図28	19	SJ22上	弥生土器	甕	30.0	-	7	橙色	橙色	-	150106
図28	20	SJ22下	弥生土器	甕	-26.5	-	6	黄褐色	黄褐色	-	150107
図29	1	SJ27	弥生土器	鉢	-44	-	9.4	橙色	橙色	-	150112
図29	2	SJ33上	弥生土器	甕	-33.6	-	8	橙色	橙色	-	150114
図29	3	SJ33下	弥生土器	甕	-35	-	8.4	明黄褐色	明黄褐色	-	150114
図29	4	SJ40上	弥生土器	甕	-66	-	10.8	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	-	150096
図29	5	SJ40下	弥生土器	甕	-64	-	12	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	-	150095
図29	6	SJ41上	弥生土器	甕	-45.4	51.1	9.2	明黄褐色	明黄褐色	-	150133
図29	7	SJ41下	弥生土器	甕	-41.2	-	10	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	-	150103

表5 出土遺物一覽表

挿圖	番号	出土位置	種別	器種	寸法 (復元)			色調		備考	登録番号
					口径	器高	底径	外面	内面		
図29	8	SJ44上	弥生土器	甕	-	-	11	明黄褐色	明黄褐色	-	150131
図29	9	SJ44下	弥生土器	甕	-57	-	9.8	浅黄橙色	浅黄橙色	-	150091
図29	10	SJ60上	弥生土器	甕	-	-	11	橙色	橙色	-	150094
図29	11	SJ60下	弥生土器	甕	-57.6	-	9.6	明黄褐色	明黄褐色	-	150116
図29	12	SJ62下	弥生土器	壺	-30	-	10	にぶい赤褐色	にぶい赤褐色	-	150146
図29	13	SJ64上	弥生土器	甕	-	-	8.4	にぶい橙色	にぶい橙色	-	150136
図29	14	SJ64下	弥生土器	甕	-40	-	-	明黄褐色	明黄褐色	-	150141
図29	15	SJ90上	弥生土器	甕	-39.4	-	8.5	橙色	橙色	-	150102
図29	16	SJ90下	弥生土器	甕	-36	-	-	浅黄橙色	浅黄橙色	-	150101
図29	17	SJ92上	弥生土器	甕	-42	-	7.5	浅黄橙色	浅黄橙色	-	150135
図29	18	SJ92下	弥生土器	甕	-44	-	10.4	明黄褐色	明黄褐色	-	150147
図29	19	SJ99上	弥生土器	甕	-51	-	-	黄褐色	黄褐色	-	150097
図29	20	SJ99下	弥生土器	甕	-52	-	10.8	浅黄橙色	浅黄橙色	-	150098
図29	21	SJ100上	弥生土器	甕	-640	-	-	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	-	150100
図29	22	SJ100下	弥生土器	甕	-42	-	10.2	橙色	橙色	-	150139
図30	1	SP71	弥生土器	壺	19.1	23.5	6	橙色	橙色	-	150084
図30	2	SP95	弥生土器	壺	-	-9.8	8.6	橙色	橙色	-	150083
図30	3	SK24	弥生土器	甕	-32	-4.6	-	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	-	150090
図30	4	SK28	弥生土器	壺	-18.8	-18.1	-	褐灰色	褐灰色	-	150075
図30	5	SK29	弥生土器	甕	-13.9	11.5	4.6	橙色	橙色	-	150126
図30	6	SK39	弥生土器	壺	-36.8	-7.5	-	にぶい褐色	にぶい褐色	-	150076
図30	7	SK39	弥生土器	壺	-31	-7.9	-	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	-	150080
図30	8	SK39	弥生土器	壺	-26.3	-8.6	-	にぶい褐色	にぶい褐色	-	150078
図30	9	SK39	弥生土器	甕	-30	-5.9	-	橙色	橙色	-	150081
図30	10	SK48	弥生土器	甕	-	-8.2	7.1	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	-	150077
図30	11	SK38	弥生土器	壺	-14.4	24.1	5	にぶい黄褐色	にぶい黄褐色	-	150077
図30	12	SK38	瓦器	碗	15.5	5.6	6.4	にぶい褐色	にぶい褐色	-	150124
図30	13	SK38	瓦器	碗	16.8	6.5	7.2	灰白色	灰白色	-	150123
図30	14	SK38	土師器	碗	-	-3.1	6.9	浅黄褐色	浅黄褐色	-	150129
図30	15	SK114	土師器	碗	-	-3	-7	にぶい褐色	にぶい褐色	-	150128
図30	16	SK38	石製品	石鍋	-	-3.9	-39.4	-	-	外面煤付着	150125

表6 出土遺物 (その他)

挿図	番号		出土位置	種別	器種	寸法 (復元)			備考	登録番号
	遺物					長さ	幅	厚さ		
図31	1	SP71	青銅器	細形銅矛	6.2	2.4	0.7	切先	150153	
図31	2	SP71	石製品	石剣	11.2	3.2	9	先端を欠く	150154	
図31	3	SC46	鉄製品	鉄鏃	9.6	2.4	0.3	尖根式	150157	
図31	4	SP93埋土中	石製品	石鏃	2.1	2.2	0.4	黒曜石	150130	



# 写真図版

# 写真図版 1



1. 3区全景（南西上空から）



2. 3区全景（北西上空から）





1.3区墳墓群 (左が北)



写真図版 3



1. SJ04 (北から)



2. SJ08 (南から)



3. SJ10 (南から)



4. SJ12 (北から)



5. SJ13 (西から)



6. SJ14 (北から)



7. SJ15 (南から)



8. SJ16 (南から)





1. SJ 18 (南から)



2. SJ 22 (北から)



3. SJ 27 (南から)



4. SJ 31 (北から)



5. SJ 32 (南から)



6. SJ 33 (南から)



7. (上から) SJ 37、SJ 98 (北から)



8. SJ 40 (南から)



写真図版 5



1. S J 41 (北から)



2. S J 44 (南から)



3. S J 60 (北から)



4. S J 62 (南から)



5. S J 64 (南から)



6. S J 69 (南から)



7. S J 83 (南から)



8. S J 86 (南から)





1. SJ90 (北から)



2. SJ92 (北から)



3. SJ99 (西から)



4. SJ100 (東から)



5. SP06 (東から)



6. SP09 (北から)



7. SP21 (北から)



8. (左から) SP45、SP40、SP59(東から)



写真図版 7



1. SP 43 (北から)



2. SP 50 (南から)



3. SP 51 (南から)



4. (左から) SP 52、SP 53、SP 54(西から)



5. SP 56 (南から)



6. SP 66 (南から)



7. SP 71 (南から)



8. SP 71 遺物出土状況





1. SP70 (東から)



2. SP74 (東から)



3. SP76 (北から)



4. SP77 (北から)



5. SP78 (北から)



6. SP79 (南から)



7. SP84 (北から)



8. SP85 (北から)



写真図版 9



1. (左から) SP 89、SP 88 (北から)



2. SP 91 (西から)



3. SP 95 (北から)



4. SP 96 (南西から)



5. SP 101 (北から)



6. SP 102 (南から)



7. SP 107 (南から)



8. SP 109 (北から)





1. SK03 (西から)



2. (左から) SK28、SK29(北西から)



3. SK38 (北から)



4. S93 (南から)



5. SK94 (西から)



6. SC34 (北から)



7. SC46 (南から)



8. SC49 (南から)



写真図版 11



1. SC 61 (北から)



2. SC 65 (南から)



3. SC 67 (北から)



4. SC 68 (南から)



5. (左から) SC 72、SC 73(東から)



6. (左から) SC 72、SC 73(南から)



7. SC 75 (南から)



8. SC 80 (南から)



1. SJ08上甕



2. SJ10上甕



3. SJ10下甕



4. SJ86上甕



5. SJ86下甕



6. SJ31下甕



7. SJ32下甕



8. SJ37下甕



9. SJ98下甕





1. SJ98上甕



2. SK28出土土器



3. SK38出土土器



4. SP71出土土器



SP71



SP71



SC46



包含層

5. SP71、SC46出土遺物・包含層出土遺物

鳥栖市文化財報告書第 87 集

儀 徳 遺 跡

平成 28 年 3 月 28 日 印刷

平成 28 年 3 月 30 日 発行

編集・発行 鳥栖市教育委員会  
鳥栖市宿町 1118 番地

印 刷 三橋印刷株式会社  
鳥栖市蔵上 4 丁目 152 番地







